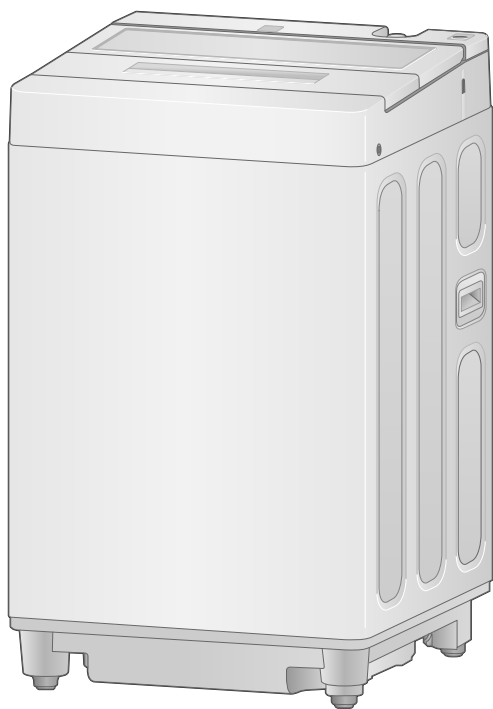


取扱説明書(WEB)

全自動電気洗濯機

型番:ITW-70A01[室内・家庭用]



このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- ・ 一般家庭用以外でご使用にならないでください。
無償保証の対象外となることがあります。
- ・ この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ・ ご使用前に「[安全上の注意 P7](#)」を必ずお読みください。
- ・ WEB マニュアルの使いかたは、「[WEB マニュアルの使いかた P2](#)」をご確認ください。

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

WEB マニュアルの使いかた

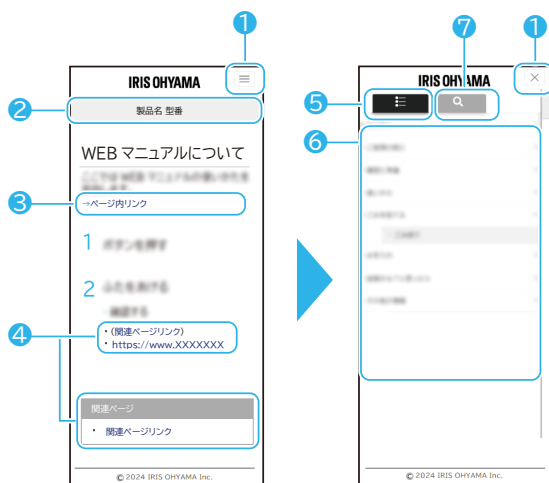
ここでは「WEB マニュアル」の使いかたを案内します。

当サイトは下記のブラウザでの使用を推奨しています。

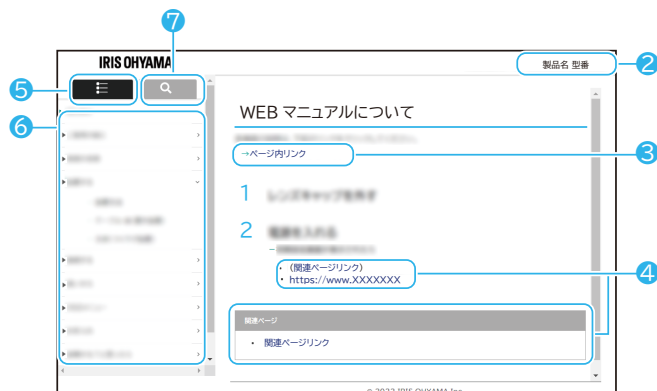
- ・Microsoft Edge ブラウザ(最新版)
- ・Google Chrome ブラウザ(最新版)

◆WEB マニュアルについて

■スマートフォン



■パソコン



① メニュー一覧/検索 切替ボタン(スマートフォンのみ)

☰ をタップするとメニュー一覧/検索画面が表示されます。

✕ を押すと元の画面に戻ります。

② 製品名、型番

お問い合わせ時には、製品名と型番をご連絡お願いいたします。

③ ページ内リンク

選択すると、ページ内の該当情報が表示されます。

④ 関連ページリンク

選択すると、WEB サイトや WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

⑤ メニュー

選択すると、メニュー一覧が表示されます。検索タブと切り替えて使用します。

⑥ メニューリスト

メニュー一覧を表示させます。

⑦ 検索タブ

選択すると、目的の情報を検索できるようになります。メニュータブと切り替えて使用します。

◆検索について

■スマートフォン



■パソコン



⑧ フリーワード検索

キーワードを入力することで、目的の情報を検索することができます。

⑨ 検索リスト

検索した結果が表示されます。選択すると、WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

- ・ デザインおよび仕様は予告なく変更することがあります。
- ・ Microsoft Edge は Microsoft Corporation の商標です。
- ・ Google Chrome は Google LLC の商標です。

もくじ

ご使用の前に..... 7

安全上の注意..... 7

使用上の注意..... 12

各部の名称..... 13

操作パネル..... 15

洗濯脱水槽..... 17

付属品..... 18

洗濯物について..... 19

取り扱いかた..... 20

洗濯前の準備..... 20

洗剤・柔軟剤を投入する..... 24

洗濯..... 28

標準・すすぎ1回・つけおき・お急ぎコース..... 29

毛布コース..... 31

おしゃれ着コース..... 34

コースの設定を変更して洗濯する..... 37

タイマー予約設定..... 39

コース一覧..... 41

運転内容の変更..... 43

その他の機能..... 45

お手入れ..... 47

お手入れについて..... 47

糸くずフィルター..... 48

本体外側..... 49

洗剤投入ケース..... 50

槽洗浄..... 51

槽乾燥..... 53

こんなときには..... 54

困ったときは..... 54

こんな表示が出たときは..... 63

保証とアフターサービス..... 65

保証規定..... 66

仕様..... 67

長期使用製品について..... 68

お問い合わせ..... 69

ご使用の前に

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

→ [警告 P7](#)

→ [注意 P9](#)

図記号の意味

	注意を促す記号です。		禁止を示す記号です。		必ず行うことを示す記号です。
---	------------	---	------------	---	----------------



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う

	- 電源プラグのほこりは定期的に取り ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。 - 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む ショートによる火災・感電の原因になります。 - 電源は交流 100V、定格 15A 以上のコンセントを単独で使う 火災の原因になります。
 プラグを抜く	お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く 感電・やけど・けがの原因になります。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない 感電・やけど・けがの原因になります。
	- 電源コードをたばねて通電しない 過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。 - 電源コードを傷つけない - 電源コードを引っ張らない 傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

	- 洗濯機を電源プラグに押しつけない 据え付け時は、洗濯機で電源プラグを押しつけないように注意してください。 - 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、アイリスコール P69 (☎ 電話をかける)へお問い合わせください。
--	--

据え付けについて

	- 水まわり、浴室など湿気のある場所には絶対に据え付けない - ベランダ・庭など風雨にさらされる場所に据え付けない 火災の原因になります。
 接触禁止	回転中の洗濯・脱水槽に手などを入れない ゆるい回転でも、洗濯物が巻きついて大けがの原因になります。回転が完全に止まるまでは洗濯物や洗濯・脱水槽に絶対に触れないでください。
 水ぬれ禁止	本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない 火災・感電の原因になります。
 アースを接続	- アースを必ず取り付ける 感電・やけど・けがの原因になります。 - アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない 爆発・火災の原因になります。
	ふたが破損したり、脱水中にふたを開けたときに脱水槽が停止しないときは、直ちに使用を中止する 事故の原因になります。お買い上げの販売店またはアイリスコール P69 (☎ 電話をかける)へ修理を依頼してください。
 感電注意	雷が鳴りだしたら、洗濯機やコンセントに触れない 感電のおそれがあります。

 分解禁止	・ 分解・修理・改造をしない 火災・感電・けがの原因になります。修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店またはアイリスコール P69 (☎ 電話をかける)にご相談ください。
	・ 子どもに洗濯・脱水槽の中をのぞかせない ・ 近くに子どもが乗りやすい台などを置かない ・ 子どもに使わせない 洗濯・脱水槽に落ちて、けがをしたりおぼれたりする原因になります。
	・ 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く 発煙・火災・感電のおそれがあります。 〔異常の例〕 - 異常な音やにおいがする - 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする - 運転中時々電源が切れる - 触れるとビリビリ電気を感じる ➡ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコール P69 (☎ 電話をかける)へお問い合わせください。



誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害が発生する内容を示しています。

 プラグを抜く	・ 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 ・ 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く 絶縁低下により、火災・感電の原因になります。
	・ 40℃以上のお湯を使用しない ・ 給湯器につながらない プラスチック部分が変形・破損し、感電や漏電、水もれの原因になります。

	・ 上に乗ったり、寄りかかったりしない ・ 重いものを載せない 転倒事故などの原因になります。
	・ スプレーをかけない(殺虫剤、整髪料、潤滑油など) ・ 引火性のもの(灯油・ガソリン・シンナーなど)、可燃性のものを入れない 火災の原因になります。
 火気禁止	・ 可燃性のものや火のついたたばこ・線香などを入れたり近づけたりしない 火災の原因になります。
	・ 防水性のもの、水を通しにくいものは、洗濯・脱水しない 洗濯物の飛び出しや脱水時の異常振動により、けが・家財の損傷・洗濯物の損傷・水もれなどの原因になります。 部屋干しモードも使用しないでください。 防水性のもの・水を通しにくいもの 雨合羽・サウナスーツ・ウェットスーツ・おむつカバー・寝袋・スキーウェア・自動車などのカバー・防水シート・玄関マット・バスマット ・ 衣類を入れすぎない 運転中に衣類が洗濯・脱水槽から飛び出して、衣類が損傷したり、洗濯機の部品の破損の原因になります。
	・ 洗濯機の下に手や足などを入れない 回転部などに触れるとけがの原因になります。かさ上げ台などを使用すると、床面とのすき間が大きくなるのでご注意ください。
	・ 衣類の洗濯以外に使用しない ・ 業務用など家庭用以外に使用しない 本製品は家庭用の衣類用洗濯機として設計されています。業務用や衣類以外に使用すると、故障の原因になります。

据え付けについて

	・ キャスター付きの台など不安定な場所に据え付けない ・ 高いところに据え付けない 脱水時の振動で、転倒・落下・移動し、けがや周囲の家財の破損の原因になります。
---	---



- ・ 確実に排水できる場所に据え付ける
水もれにより、周囲の家財の汚損や、火災・感電の原因になります。



- ・ 給水ホースは確実に接続する
- ・ 運転前は、水栓を開けて、給水ホースの接続部から水がもれていないことを確認する
ねじなどがゆるんでいないか確認してください。ホースが外れると、水もれや事故の原因になります。
- ・ 運転後は水栓を閉じる
水もれの原因になります。

使用上の注意

- ・ 本体(特にふたや操作パネル)に洗剤や柔軟剤が付いたときは、すぐにしぼったタオルなどで拭き取ってください。印字のはがれやプラスチック部分の傷み、金属部の腐食などの原因になります。特に濃縮液体洗剤がプラスチック部分に付くと、プラスチックが割れることがあります。
- ・ 洗剤は入れすぎないでください。
すすぎが不十分になったり、泡が飛んで周囲をぬらす原因になります。
- ・ 洗濯物を入れすぎないでください。
洗濯物の傷み、洗濯機の破損・故障の原因になります。
- ・ 使用後は万一の水もれを防止するために、水栓を閉めてください。
- ・ ラジオやテレビの近くに据え付けしないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。
- ・ スピーカーや IH 調理器(電磁調理器)など磁気の出る機器の近くには据え付けしないでください。
- ・ 洗濯機の上に磁気を帯びたものを載せないでください。
正常に動作しないことがあります。

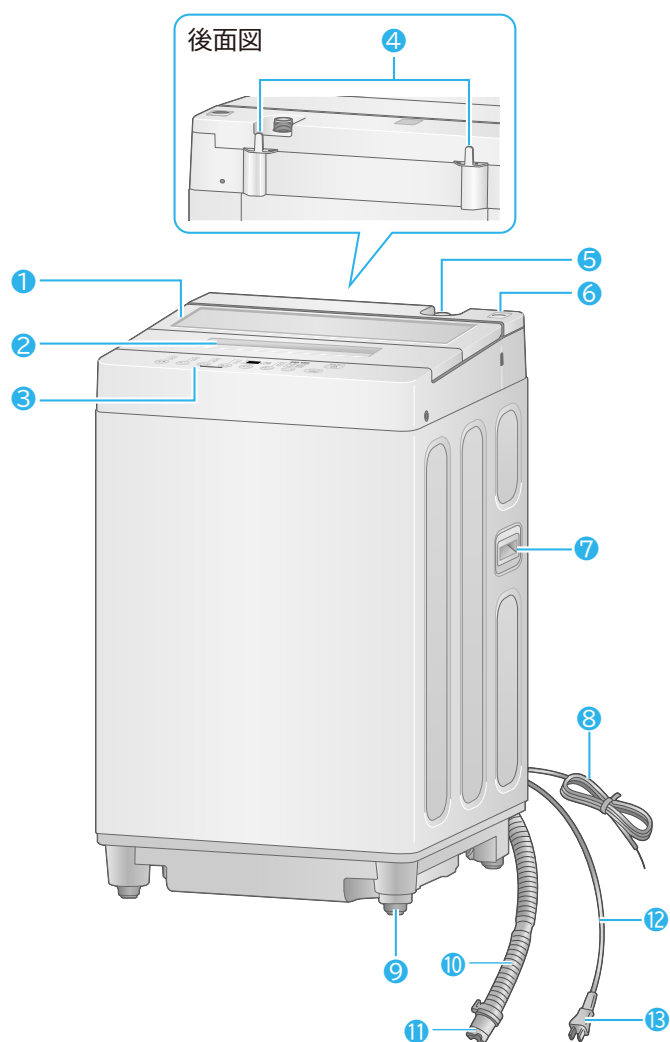
— 廃棄について

- ・ 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

子どもを含む、補助を必要とする方がこの機器を使用する場合は、安全管理を行う方の付き添いおよび指示のもとで行ってください。小さな子どもやペットが洗濯槽に誤って落下および作動させないでください。

各部の名称

—正面

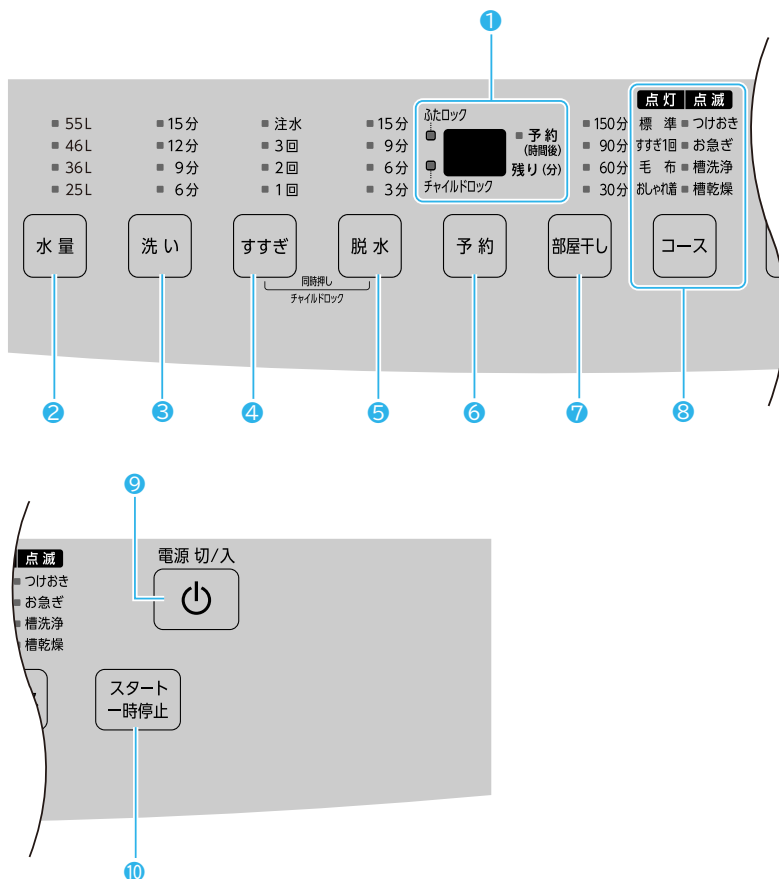


- ① ふた
- ② ふた取っ手
- ③ 操作パネル
- ④ ホース架け
- ⑤ 給水口
- ⑥ 乾燥機用排出口
- ⑦ 取っ手
- ⑧ アース線
- ⑨ 調節脚
- ⑩ 排水ホース
- ⑪ スリーブ

12 電源コード

13 電源プラグ

操作パネル



① 表示部・お知らせランプ

表示部：残り時間(目安)や予約時間、お知らせ表示などを表示します。

お知らせランプ：

- ・ふたロックランプ：点灯している間、ふたは開きません。
- ・チャイルドロックランプ：チャイルドロックが設定されると点灯します。点灯している間、ふたは開きません。
- ・予約ランプ：予約設定時に点灯し、スタート／一時停止ボタンを押した後は点滅します。

② 水量ボタン・ランプ

水量を変更できます。

水量が設定されていると点灯します。

③ 洗いボタン・ランプ

洗い時間を変更できます。

洗い工程が設定されていると点灯し、洗い運転中に点滅します。

④ すすぎボタン・ランプ

すすぎ回数とすすぎ方法の変更ができます。

すすぎ工程が設定されていると点灯し、すすぎ運転中に点滅します。

⑤ 脱水ボタン・ランプ

脱水時間を変更できます。

脱水工程が設定されていると点灯し、脱水運転中に点滅します。

⑥ 予約ボタン

何時間後に運転終了させるかを選ぶことができます。

⑦ 部屋干しボタン

脱水後さらに、洗濯・脱水槽の回転で、湿った空気を排出し、洗濯物の水分を飛ばします。

設定できないコースもあります。

- ・部屋干しを追加するときは、運転コースを選択したあとに、部屋干しボタンを押してください。
- ・部屋干しボタンを押すたびに、時間が切り替わります。
- ・部屋干しを設定すると、脱水終了後、部屋干し工程を開始します。

⑧ コースボタン・ランプ

運転内容に合ったコース設定ができます。

コースに合わせて、ランプが点灯、点滅します。

⑨ 電源切/入ボタン

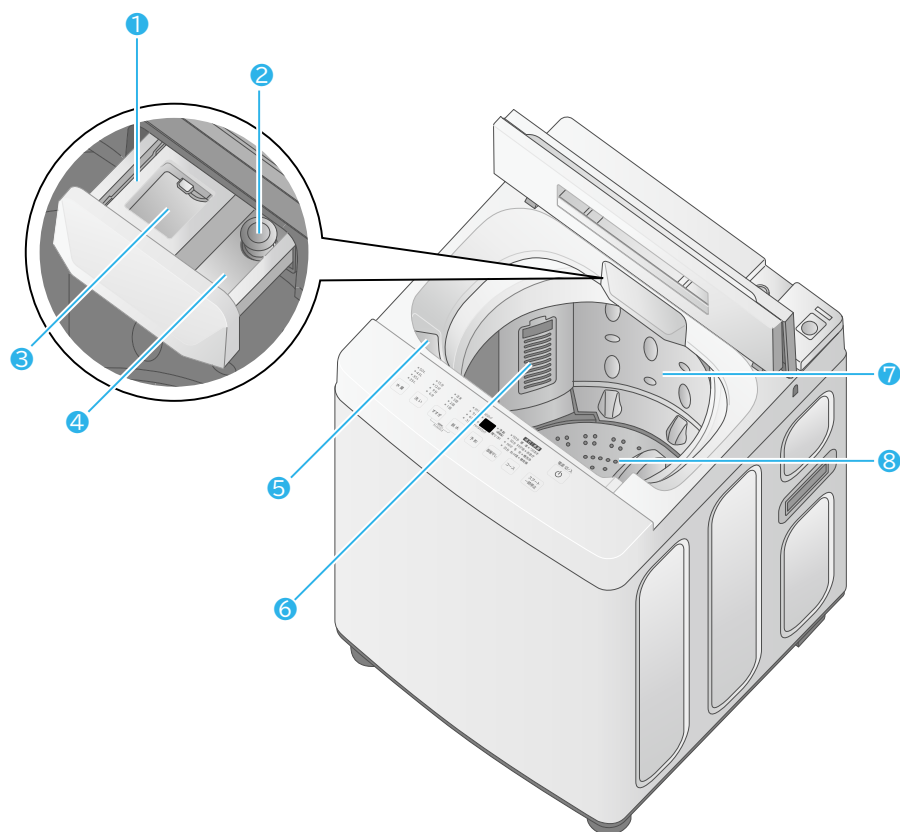
電源を切/入できます。

電源を入れて約 30 分以内にスタートをしない場合、自動で電源が切れます。

⑩ スタート／一時停止ボタン

運転の開始、または一時停止ができます。

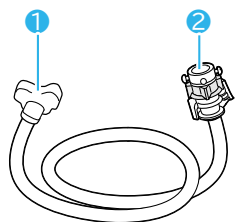
洗濯脱水槽



- ①液体洗剤ケース
- ②キャップ
- ③液体洗剤／粉末合成洗剤・漂白剤投入口
- ④柔軟剤投入口
- ⑤漂白剤注入口(液体用)
- ⑥糸くずフィルター(1 個)
- ⑦洗濯・脱水槽
- ⑧パルセーター

付属品

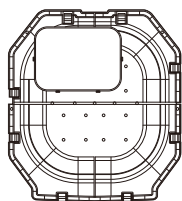
給水ホース(約 0.8 m)



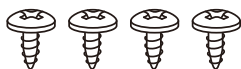
① 給水ナット

② 給水ホース継手

保護カバー



M4 ねじ



洗濯物について

洗濯できないもの

洗濯物の縮み・形くずれ・変色・損傷・風合いの劣化などのおそれがあります。

- 以下の洗濯絵表示のあるもの

	家庭での水洗いはできない または洗濯処理はできない
	石油系ドライクリーニング

- 取り扱い絵表示や素材表示のないもの
- 皮革・毛皮・羽などが使われている製品
- 和服・和装小物
- ネクタイ・スーツ・コート
- レーヨン・キュプラおよびそれらの混紡が使われている製品
- 絹製品
- ベルベットなどのパイル地製品
- 強燃糸(強くよじった糸)を使用した製品(ウール・ちりめんなど)
- 毛 100%または毛足 10mm 以上の毛布やカーペットカバー
- くつ
- コーティング加工・樹脂加工・エンボス加工をした製品

厚手のタオル地の衣類や、柔道着などは、うまく脱水できないことがあります。単独での洗濯ではなく、複数枚での洗濯や、他の衣類と一緒に洗濯をしてください。

脱水できないもの

脱水時の異常振動などにより、衣類の傷みや洗濯機の破損の原因になります。

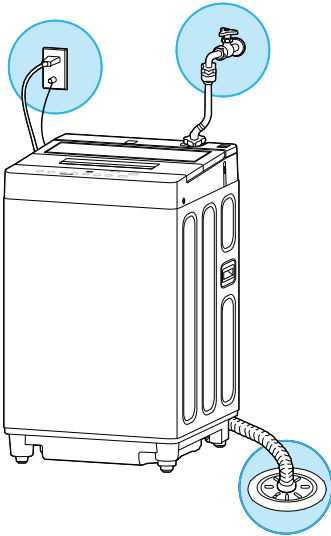
- 防水性製品(洗濯できる表示があっても洗わない)
- 裏面にゴムの付いているもの、毛足の長いもの、厚手のもの(玄関マット・ラグマット・敷物など)
- カーペット
- 座ぶとん・まくら・クッションなど
- ペットなどの毛が多量に付着したもの
- 市販の洗濯補助具(洗濯ボール・ごみ取りフィルターなど)

取り扱いかた

洗濯前の準備

据え付けの確認

初めて使用するときは、据え付け状態の確認をしてください。また、定期的に、据え付け状態に異常がないか確認してください。



電源コード

- ・ 電源プラグがコンセントの奥までしっかり差し込まれているか
- ・ アースが接続されているか

排水ホース

- ・ 確実に排水口に取り付けられているか
- ・ 排水が止まらないように高さ 10cm 以内に収まっているか(据付説明書参照)
- ・ 排水ホースが脚などにはさまっていないか

給水ホース

- ・ 水栓(蛇口)の接続は、付属の給水ホースを使用して、給水ホース継手で接続しているか
- ・ 本体の接続は、給水ナットを最後まで確実に締めてあるか
- ・ 接続部分にゆりみやがたつきがないか
- ・ 水栓(蛇口)にさびは発生していないか

※給水栓は、ストッパー付きの給水栓をおすすめします。(据付説明書参照)

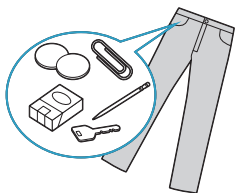
本体

- ・ 水平に設置されているか
- ・ がたつきはないか
- ・ 排水ホースや給水ホース、水栓(蛇口)を圧迫していないか

洗濯物を確認する

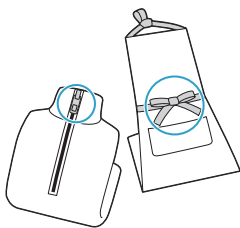
ポケットの中のもの(硬貨・ねじ・ヘアピン・くぎ・つまようじ・砂など)は取り除く

- ・ 洗濯物の傷みや排水経路のつまり・破れ、洗濯・脱水槽の破損の原因になります。



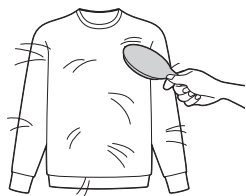
ひもなどは結ぶ
ファスナーは閉める
ボタンや面ファスナー(マジックテープ)はとめる
カーテンのフックは取り外す

- ・ 洗濯物がすれたり、からまったりして、傷む原因になります。



髪の毛・動物の毛・泥・砂などはブラシで落とす

- ・ 排水経路がつまる原因になります。



起毛素材(コーデュロイなど)・毛玉のでやすいセーター・特殊印刷のある T シャツなどは裏返す

- ・ 摩擦やかくはんなどで表面が傷みやすい製品は、裏返すか洗濯用ネットに入れてください。



洗濯物を分ける

色落ちしやすいもの・濃い色のものと、白いもの・色の薄いものを分ける

- ・色の濃いものは、洗濯物の目立たない部分で、白いタオルなどに洗剤液を含ませたものを押しつけ、色落ちしないか確認してください。
- ・色落ちするものは、色ごとに分けて洗ってください。

糸くずが出やすいものと、糸くずが目立つものを分ける

- ・タオルなどは、糸くずが出やすいので分けて洗ってください。
- ・コーデュロイや色の濃いものなど、糸くずが目立つものは、糸くずが出やすいものと分けるか、市販の糸くず防止ネットに入れて洗ってください。

デリケートな洗濯物は市販の洗濯用ネットに入れる

- ・レースの付いた製品・フリルや飾りボタンの付いた製品・ストッキングやタイツなどは洗濯用ネットに入れて洗ってください。
- ・ワイヤー入りブラジャーは、市販のブラジャー専用洗濯用ネットに入れて洗ってください。
- ・くつ下などの軽い洗濯物は、脱水時に飛ばされて洗濯・脱水槽と本体のすき間に入り、故障の原因になることがあります。軽い洗濯物は洗濯用ネットに入れて洗ってください。

洗濯物を入れる

- ・洗濯のコースによって、洗濯できる量が決まっています。次の表を目安に、最大量を超えないように入れてください。

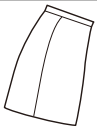
コース	用途	洗濯できる量
標準	ふだんの洗濯	7.0kg まで
すすぎ 1 回	時間を短縮して洗濯する	7.0kg まで
お急ぎ	時間をもっと短縮して洗濯する	3.5kg まで
つけおき	汚れの多いものを洗濯する	4.0kg まで
毛布	毛布などの大物を洗濯する	3.0kg まで
おしゃれ着	ウールやレースの付いた製品を洗濯する	2.0kg まで

※素材によって重さが異なるので、慣れないうちは少なめに入れてください。

※汚れ落ちや脱水のしぼり具合を良くするために、少なめの量で洗濯をおすすめします。

※ひもなどが出ている場合は、できるだけ結んでください。洗濯・脱水槽から飛び出て、衣類の損傷や洗濯機の故障の原因になります。

衣類の重さ(目安)

		
パジャマ上下 (綿) 約 500g	スカート (混紡) 約 400g	ワイシャツ (混紡) 約 200g
		
アンダーシャツ (綿) 約 130g	シーツ (綿) 約 500g	バスタオル (綿) 約 300g
		
タオル (綿) 約 70g	ブリーフ (綿) 約 50g	くつ下 (混紡) 約 50g

洗濯物の入れかた

重いもの・水に浮きやすいもの・洗濯用ネットに入れた洗濯物から先に入れる

- ・ 水に浮きやすい衣類の例
表地や裏地が化繊 100%のジャンパーなど
フリースなど化繊 100%、または混紡の衣類

洗濯物はできるだけ均一に入れ、よく押し込む

- ・ タオルケットやシーツ・洗濯用ネットに入れた洗濯物は、必ず他の洗濯物と一緒に洗ってください。洗濯物が 1 か所に固まるため、脱水時の振動が大きくなります。
- ・ 水に浮きやすいものだけのときは、給水後一旦運転を停止して、上から押さえ、洗剤液を十分にしみ込ませてください。
- ・ 上から押さえても洗剤液がしみ込まないものは、洗わないでください。

洗剤・柔軟剤を投入する

水量に応じて表 P26 を目安に、洗剤・柔軟剤に付属している計量キャップ・計量スプーンで入れてください。

— 漂白剤の入れかた

粉末漂白剤

- ・ 粉末合成洗剤・漂白剤投入口に入れる（洗剤と同時）

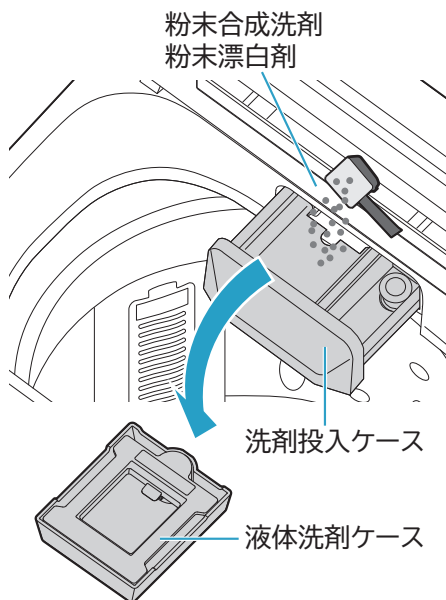
液体漂白剤

- ・ 漂白剤注入口（液体用）に入れる

※漂白剤の量は、漂白剤の説明書にしたがってください。

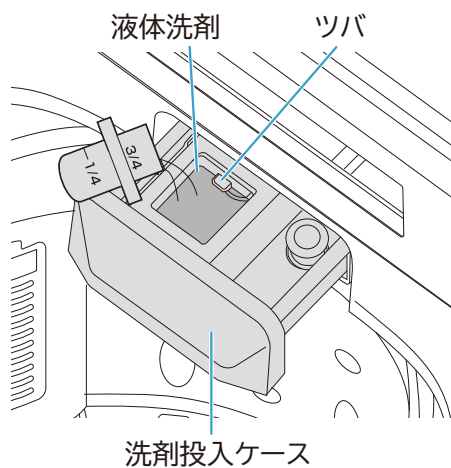
— 洗剤の入れかた

粉末合成洗剤を入れる



- ・ 粉末合成洗剤を入れるときは液体洗剤ケースを外してください。
- ・ 粉末合成洗剤は入れすぎないでください。洗剤が固まって残ることがあります。

液体洗剤・液体中性洗剤を入れる



- ・ 液体洗剤・液体中性洗剤は「MAX」のツバより多く入れないでください。

運転開始前にサイホン現象で自動的に投入されてしまい、効果が出ません。

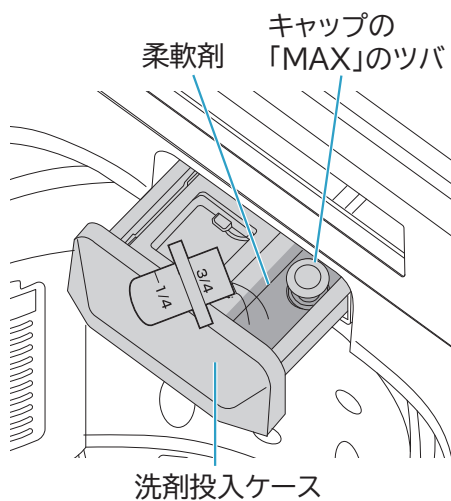
粉石けんを入れる



- ①約 30℃のぬるま湯約 5L をかき回しながら、粉石けんを少しずつ入れて、洗剤液を作る。
- ②洗濯物の量検知後、洗濯・脱水槽に入れる。

柔軟剤の入れかた

柔軟剤投入口に入れる



- ・柔軟剤はキャップの「MAX」のツバより多く入れないでください。運転開始前にサイホン現象で自動的に投入されてしまい、効果が出ません。
- ・種類によっては流れにくいものもあります。同量の水で溶かしてから入れてください。
- ・少量の水と混ぜると固まるものがあります。柔軟剤の説明にしたがってください
- ・脱水のときに洗濯物の片寄りを検知すると、給水して片寄りを修正します。このため、柔軟剤の効きが弱くなる場合があります。



注意

スタート
一時停止

を押した後は、洗濯・脱水槽に触れないでください。

洗剤・柔軟剤・漂白剤の目分量

→ [合成洗剤\(粉末\) P26](#)

→ [合成洗剤\(液体\) P26](#)

→ [合成洗剤\(液体中性\) P26](#)

→ [柔軟剤 P27](#)

→ [酸素系液体漂白剤 P27](#)

合成洗剤(粉末)

衣類の目 安量	水量表 示	水 30L あたりの必要量	
		18g/30L	30g/30L
～7kg	55L	33g	55g
～4kg	46L	28g	46g
～2.5kg	36L	22g	36g
～1kg	25L	15g	25g

合成洗剤(液体)

衣類の目 安量	水量表 示	水 30L あたりの必要量		
		10mL/30L	25mL/30L	30mL/30L
～7kg	55L	18mL	46mL	55mL
～4kg	46L	15mL	38mL	46mL
～2.5kg	36L	12mL	30mL	36mL
～1kg	25L	8mL	21mL	25mL

合成洗剤(液体中性)

衣類の目 安量	水量表 示	水 30L あたりの必要量	
		40mL/30L	
～7kg	55L	73mL	
～4kg	46L	61mL	
～2.5kg	36L	48mL	
～1kg	25L	33mL	

柔軟剤

衣類の目 安量	水量表 示	水 30L あたりの必要量		
		7mL／30L	10mL／30L	16mL／30L
～7kg	55L	13mL	18mL	29mL
～4kg	46L	11mL	15mL	25mL
～2.5kg	36L	8mL	12mL	19mL
～1kg	25L	6mL	8mL	13mL

酸素系液体漂白剤

衣類の目 安量	水量表 示	水 30L あたりの必要量
		20mL／30L
～7kg	55L	37mL
～4kg	46L	31mL
～2.5kg	36L	24mL
～1kg	25L	17mL

- ・ お急ぎコースで洗濯するときは、洗剤の量を半分にしてください。
- ・ すすぎ1回コースで洗濯するときは、すすぎ1回専用洗剤を使用してください。
- ・ わからない場合は、洗剤・柔軟剤・漂白剤の説明書を確認してください。

洗剤は入れすぎないでください。入れすぎると泡が立ちすぎて、周囲にあふれたり、すすぎが不十分になったりします。

洗濯

コースを選ぶ

ふだんの洗濯・汚れの多いものを洗濯・時間を短縮して洗濯する

→ [標準・すすぎ1回・つけおき・お急ぎコース P29](#)

毛布などを洗濯する

→ [毛布コース P31](#)

ウールやレースの付いた製品を洗濯する

→ [おしゃれ着コース P34](#)

運転内容を変更して洗濯する

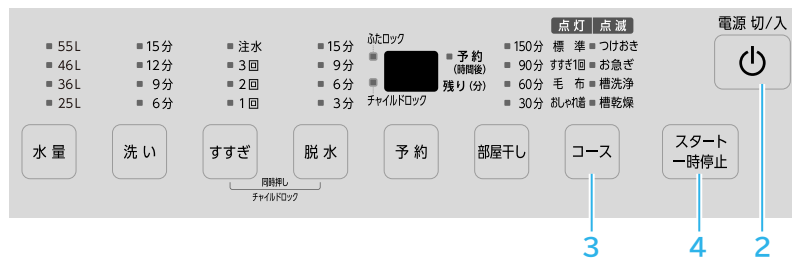
→ [コースの設定を変更して洗濯する P37](#)

予約設定をする

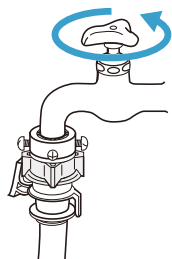
→ [タイマー予約設定 P39](#)

標準・すすぎ 1 回・つけおき・お急ぎコース

日常的にご使用いただける 4 つのコースで洗濯を行うときの手順です。



水栓を開け、洗濯物を入れる



電源を入れる

コースを選ぶ

- ・ ふだんのお洗濯は標準コースを選んでください。
- ・ 洗い時間など各工程の時間・回数などの変更ができます。(→[運転内容の変更 P43](#))

スタート/一時停止を押す

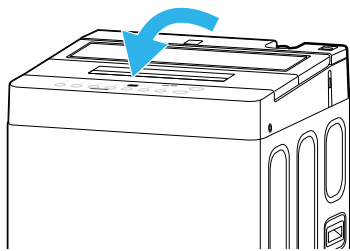
- ・ 洗濯物の量を検知します。

洗剤・柔軟剤を投入する(→[洗剤・柔軟剤を投入する P24](#))

- ・ 水量ランプを目安に洗剤・柔軟剤などを入れてください。

ふたを閉める

- ・ 運転が始まります。



7 洗濯が終了したら、洗濯物を取り出す

8 糸くずフィルターを掃除する(→[糸くずフィルター P48](#))

- ・ 糸くずフィルターのお手入れは定期的に行ってください。

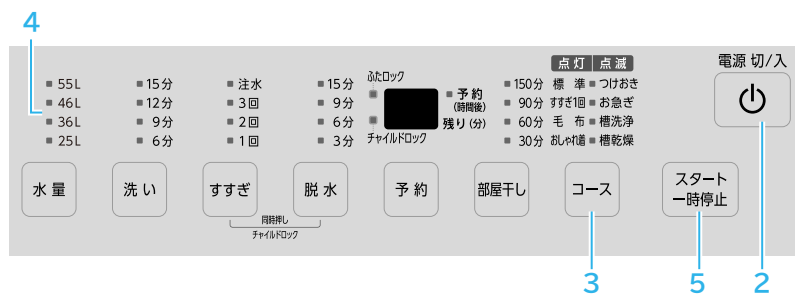
— 水量について

- ・ 軽い洗濯物(化繊の衣類・シーツなど)を入れたときは、水量が少なく設定されることがあります。
- ・ また、ぬれた衣類を入れると、水量が多く設定されることがあります。

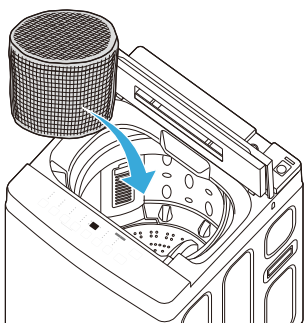
※水量を変更する場合は、[水量を変更する P43](#) を参照してください。

毛布コース

毛布など大物に適したコースです。



水栓を開け、洗濯物を入れる



を押して電源を入れる

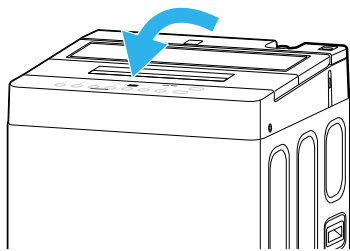
で毛布コースを選ぶ

洗剤・柔軟剤を投入する(→[洗剤・柔軟剤を投入する P24](#))

- 水量ランプを目安に洗剤・柔軟剤などを入れてください。
(水量は 55L で固定です。変更できません。)
- 液体合成洗剤または液体中性洗剤をご使用ください。
- 粉末洗剤は溶け残る場合があります。
使用できない洗剤もありますので、洗剤に記載されている内容を確認してください。

ふたを閉め、を押す

- 運転が始まります。



6 洗濯が終了したら、洗濯物を取り出す

7 糸くずフィルターを掃除する(→[糸くずフィルター P48](#))

- ・ 糸くずフィルターのお手入れは定期的に行ってください。

—洗濯物について

毛布コースで洗濯できるもの

- ・  または  の表示がある毛布
 または  の表示がある毛布
 大きさ:140×200cm まで
- ・ カーペットカバー
- ・ ベッドパッド
- ・ カーテン

毛布コースで洗濯できないもの

- ・ 毛 100%の毛布・カーペットカバー
- ・ 防水性のあるもの
- ・ 化繊以外の詰め物がされているふとんなど
- ・ 電気毛布・電気マット

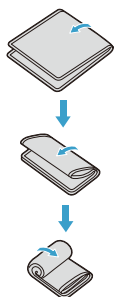
※洗える電気毛布は電気毛布の取扱説明書にしたがってください。

—毛布の入れかた

1. 折りたたむ

- ・ 折りたたむ前に、ごみや糸くずを取り除いてください。

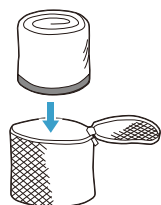
- ・ 長いほうを四つまたは八つに折り、短いほうに巻いてください。できるだけ高さを低くするように折ってください。(毛布洗い用の洗濯ネットに入れるため)



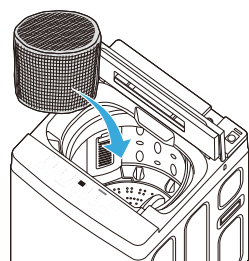
- ・ マイヤー毛布以外はゆるめに巻いてください。

2. 洗濯用ネットに入れる

- ・ 必ず毛布洗い用ネットに入れて洗濯してください。
- ・ 毛布洗い用ネットは、直径 43cm 以上のものを使用してください。
- ・ 縁のあるほうを下になるように毛布洗い用ネット入れ、ファスナーを閉めてください。

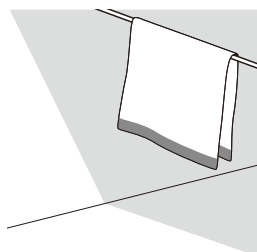


- ・ ファスナーを上側にして、洗濯脱水槽に入れてください。



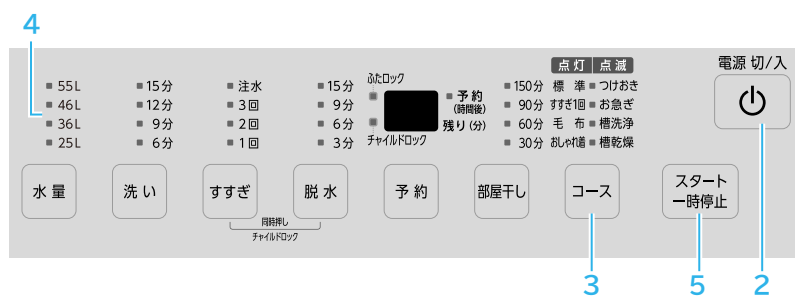
—毛布の干しかた

- ・ 洗濯物を取り出すときは、ファスナーを開けて、先に毛布を取り出してください。
- ・ 風通しのよい直射日光の当たらないところで乾かしてください。

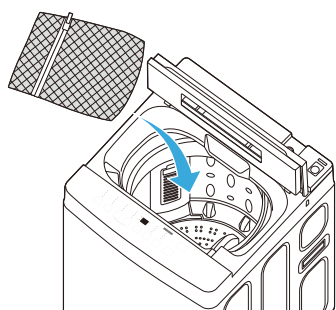


おしゃれ着コース

デリケートな洗濯物に適したコースです。



水栓を開け、洗濯物を入れる



2 を押して電源を入れる

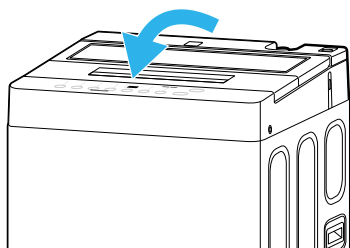
3 でおしゃれ着コースを選ぶ

4 洗剤・柔軟剤を投入する(→[洗剤・柔軟剤を投入する P24](#))

- ・ 水量ランプを目安に洗剤・柔軟剤などを入れてください。(水量は 46L で固定です。変更できません。)

5 ふたを閉め、を押す

- ・ 運転が始まります。



6 洗濯が終了したら、洗濯物を取り出す

7

糸くずフィルターを掃除する(→[糸くずフィルター P48](#))

- ・ 糸くずフィルターのお手入れは定期的に行ってください。

—洗濯物について

おしゃれ着コースで洗濯できるもの

- ・  または  の表示があるもの
- ・ ウールのセーター、カーディガンなど
- ・ スラックス、スカート、学生服類
- ・ ブラウス、シャツ、ランジェリー類

※上記でも洗えないものがあります。

おしゃれ着コースで洗濯できないもの

- ・ 水につけると、形くずれ・縮み・風合いの低下を起こしやすいもの
- ・ 皮革製品、または皮革・羽・毛皮などの飾りのあるもの
- ・ シルク・レーヨン(ポリノジックを含む)・キュプラおよびその混紡品(裏地に使われているものも洗わないでください。)
- ・ スーツ・ジャケット・コート・ネクタイなど、形くずれしやすいもの
- ・ コーティング・樹脂加工(接着剤を使用したもの)・エンボス加工・しわ加工がほどこされたもの
- ・ ちりめんなどの強撚糸を使用したもの
- ・ 毛布・カーテンなど大きなもの・重いもの
- ・ 水に浮いてしまうもの、防水加工されたもの、水で色落ちするもの

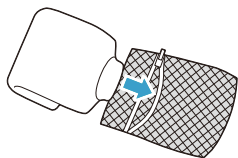
—洗濯物の入れかた

1. 洗濯物の確認と準備をする

- ・ 色落ち: 白いタオルの上に衣類の目立たないところを載せ、洗剤液をしみ込ませた白いタオルでたたき、色移りしないか確認してください。タオルに色移りした場合、洗わないでください。
- ・ プリーツ加工のもの: プリーツはしつけ糸で縫い留めしてください。
- ・ 部分汚れがある場合: えり・そでなど部分汚れがあるところは、洗剤の原液をつけてやわらかいブラシで軽くたたいてください。

2. デリケートな衣類は 洗濯用ネットに入れる

- ・ 1 枚ずつ、目の粗い市販の洗濯用ネットに入れてください。
- ・ 衣類は裏返して、えり・そでなど汚れたところが表に出るようにしてください。

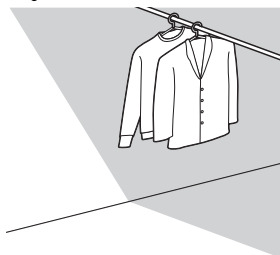


3. 平らになるように重ねて入れる

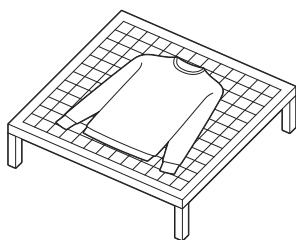
- ・ ネットに入れたセーターなどは、汚れているほうを下にしてください。
- ・ 洗濯用ネットを使用する場合は、他の衣類も入れてください。洗濯用ネットの衣類だけだと衣類が 1 か所に片寄るため、脱水時の振動が大きくなります。

—洗濯物の干しかた

- ・ 洗濯物は早めに取り出して、しわをのばすように広げ、風通しのよい直射日光の当たらないところで乾かしてください。



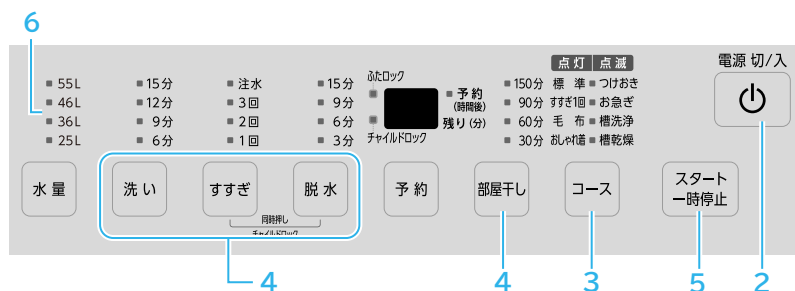
- ・ セーターなどは平干ししてください。



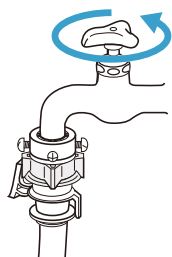
コースの設定を変更して洗濯する

洗い時間・すすぎ回数・脱水時間を個別に設定して洗濯できる他、それぞれの行程単独での運転も可能です。

※コースによっては設定できない場合があります。



水栓を開け、洗濯物を入れる



電源を入れる

コースでコースを選ぶ

必要に応じて洗い時間・すすぎ回数・脱水時間・部屋干しモードを設定する

洗い時間

を押して設定します。(→[洗い時間を変更する P43](#))

すすぎ回数

を押して設定します。(→[すすぎ回数を変更する P44](#))

脱水時間

を押して設定します。(→[脱水時間を変更する P44](#))

部屋干しモード

を押して設定します(→[部屋干し P45](#))

5

スタート
一時停止

を押す

- 洗濯物の量を検知します。

6

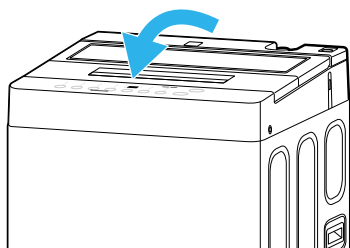
洗剤・柔軟剤を投入する(→[洗剤・柔軟剤を投入する P24](#))

- 水量ランプを目安に洗剤・柔軟剤などを入れてください。

7

ふたを閉める

- 運転が始まります。



8

洗濯が終了したら、洗濯物を取り出す

9

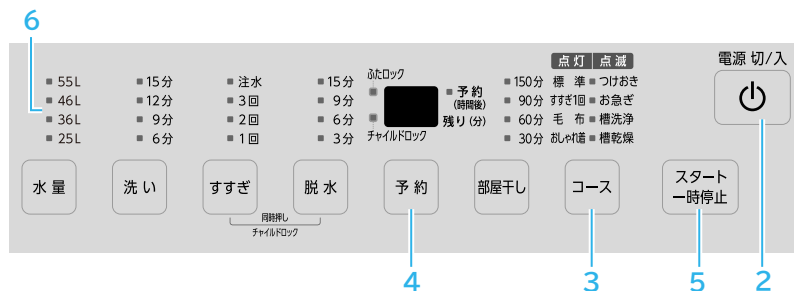
糸くずフィルターを掃除する(→[糸くずフィルター P48](#))

- 糸くずフィルターのお手入れは定期的に行ってください。

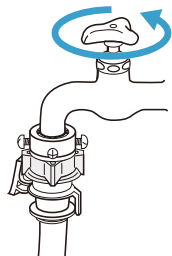
タイマー予約設定

何時間後に運転終了させるかを選ぶことができます。

※槽洗浄コース・槽乾燥コースでは使えません。



水栓を開け、洗濯物を入れる



2 を押して電源を入れる

3 でコースを選ぶ

4 を押して、洗濯の終了時間を設定する

- ・ 予約ランプが点灯します。
- ・ 2～24 時間後までを 1 時間ごとに設定できます。
- ・ コースの最低運転時間以下には設定できません。

5 を押す

- ・ 洗濯物の量を検知します。
- ・ 予約ランプが点滅します。
- ・ 水量ランプが点灯します。
- ・ 時間が経過するごとに表示時間が減ります。

6

洗剤・柔軟剤を投入する(→[洗剤・柔軟剤を投入する P24](#))

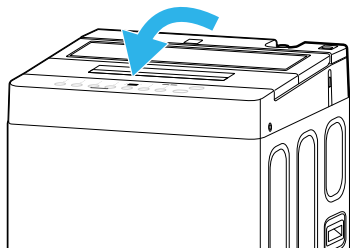
- ・ 水量ランプを目安に洗剤・柔軟剤などを入れてください。

ふたを閉める

- ・ 運転開始時間になると、予約した時間に終わるように運転を開始します。

予約を取り消すには、を押して、電源を切にしてください。
予約を変更するには、電源を入れ直して設定し直してください。

7



8

洗濯が終了したら、洗濯物を取り出す

9

糸くずフィルターを掃除する(→[糸くずフィルター P48](#))

- ・ 糸くずフィルターのお手入れは定期的に行ってください。

コース一覧

コース	水量	洗い	すすぎ	脱水	所要時間
標準	25～55L	9分	2回	9分	43分
すすぎ1回	25～55L	9分	1回	9分	37分
お急ぎ	25～55L	6分	2回	6分	34分
おしゃれ着	46L	9分	2回(注水)	1分	35分
つけおき	25～55L	15分	2回	6分	83分
毛布	55L	15分	2回	15分	55分
槽洗浄	55L	15分	2回(注水)	3分	48分
槽乾燥	-	-	-	-	30分

※所要時間は水量によって変化します。

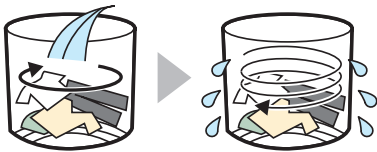
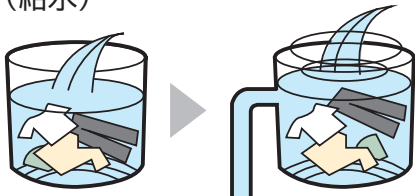
※おしゃれ着、毛布、槽洗浄の水量は固定です。

すすぎの種類

すすぎは3種類あります。

「シャワーすすぎ」と「ためすすぎ」は、あらかじめ設定されているので選べません。

「注水すすぎ」は1～3回とも選べます。

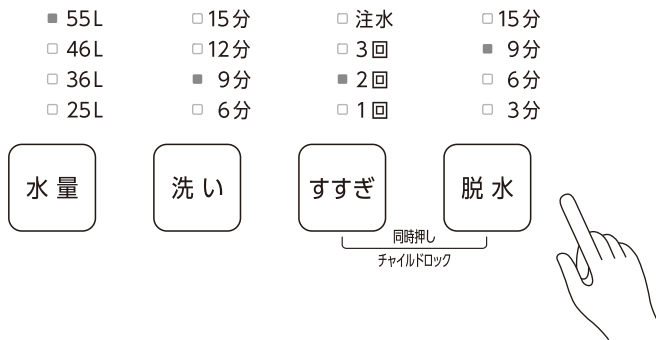
シャワーすすぎ	 洗濯脱水槽をゆっくり回転させながらすすぎます。 (洗剤分を含んだ水を排水するので水は指定水量までたまりません。)
注水すすぎ	(給水)  指定水量まで水をため、給水しながらすすぎます。 (水はあふれません。)
ためすすぎ	

水をためてすすぎます。

運転内容の変更

コースを選んだ後、各ボタンを押すと運転内容を変更することができます。

- ・ コースによって設定できる内容が異なります。また、変更できないコースもあります。



→ [水量を変更する P43](#)

→ [洗い時間を変更する P43](#)

→ [すすぎ回数を変更する P44](#)

→ [脱水時間を変更する P44](#)

- ・ 設定後、を押すと設定した内容で運転を開始します

— 水量を変更する

4段階で水量を設定できます。



— 洗い時間を変更する

4段階で洗い時間を設定できます。

- ☐ 15分
- ☐ 12分
- ☒ 9分
- ☐ 6分



- ・ 0 分に設定時はランプが消灯します。

—すすぎ回数を変更する

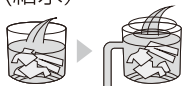
回数(1～3 回)を設定できます。

- ☐ 注水
- ☐ 3回
- ☒ 2回
- ☐ 1回



- ・ 0 回に設定時はランプが消灯します。
- ・ 注水ランプが点灯している場合、すすぎ方法が注水すすぎになります。

(給水)



—脱水時間を変更する

4 段階で脱水時間を設定できます。設定時間は画面に表示されます。

- ☐ 15分
- ☒ 9分
- ☐ 6分
- ☐ 3分



- ・ 0 分に設定時はランプが消灯します。

その他の機能

一部屋干し

脱水後さらに、洗濯・脱水槽の回転で、湿った空気を排出し、洗濯物の水分を飛ばします。

設定できないコースもあります。

- 150分
- 90分
- 60分
- 30分



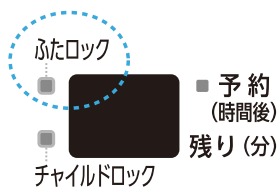
- ・ 部屋干しを追加するときは、運転コースを選択した後に  を押してください。
- ・  を押すたびに、時間が切り替わります。
- ・ 部屋干しを設定すると、脱水完了後、部屋干し工程を開始します。

ふたロック

運転中は安全のため、自動的にふたロックがかかります。

ドアロックの状態は、操作パネルのふたロックランプで確認できます。

- ・ ふたロックがかかっている状態→ふたロックランプが点灯
- ・ ふたロックが解除されている状態→ふたロックランプが消灯



- ・ 運転中、途中でふたロックを解除するには、 を押す
- ・ 一時停止後ふたロックが解除されます。

※脱水の途中でボタンを押したときは、洗濯脱水槽が完全に止まってから、ふたロックが解除されます。

—チャイルドロック

洗濯しているときに、幼児が誤って洗濯・脱水槽に落ちないように、チャイルドロックモードを設定することができます。

チャイルドロックを設定すると、電源の入/切に関係なく、ふたロックがかかります。

- ・ チャイルドロックがかかっている→チャイルドロックランプが点灯
- ・ チャイルドロックが解除されている→チャイルドロックランプが消灯



- ・ 電源が入っているときに  と  を同時に押すと、チャイルドロックモードの入/切が切り替わります。
- ・ チャイルドロックモードを入にすると、解除するまでふたのロックが自動でかかります。

※運転中に停電した場合、電気が回復してから  を押して電源を入れてください。ふたロックが解除されます。



注意

- ・ チャイルドロック設定中は電源が入っていない状態でも、ふたロックがかかります。ふたを無理に開けると故障の原因になります。

お手入れ

お手入れについて



注意

- ・ お手入れは、必ず運転を停止して行ってください。
- ・ シンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性・酸性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

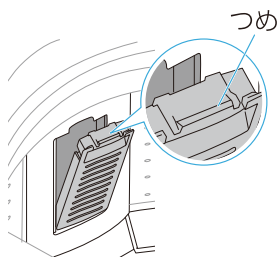
お手入れ時期	お手入れ箇所	お手入れ方法
毎回	糸くずフィルター P48	水洗い
汚れたら	本体外側 P49	汚れの拭き取り
汚れたら 洗剤・柔軟剤が流 れなくなったら	洗剤投入ケース P50	水洗い
1 か月に 1 回程 度	洗濯脱水槽	槽洗浄 P51
1 週間に 1 回程 度	洗濯脱水槽	槽乾燥 P53

各お手入れの説明については、上記のリンクをクリックしてください。

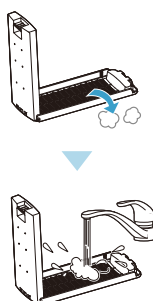
糸くずフィルター

毎回

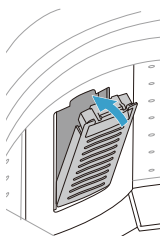
- ・ フィルターケースを取り外すときは、上部のつめを押し下げて外してください。



糸くずフィルターは、フィルターカバーを開けて糸くずを取り除き、水洗いする



- ・ フィルターケースを取り付けるときは、下端を差し込んで、上部をカチッとなるまで押し込んでください。

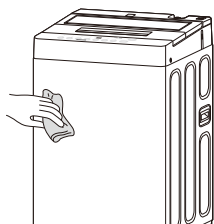


本体外側

汚れたら

本体外側は、よくしぼったやわらかい布で汚れを拭き取る

- 汚れが落ちにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、かたくしぼった布などで洗剤分を拭き取ってください。
- 本体(特にふたや操作パネル)に洗剤や柔軟剤が付いたときは、すぐにしぼったタオルなどで拭き取ってください。印字のはがれやプラスチック部分の傷み、金属部の腐食などの原因になります。

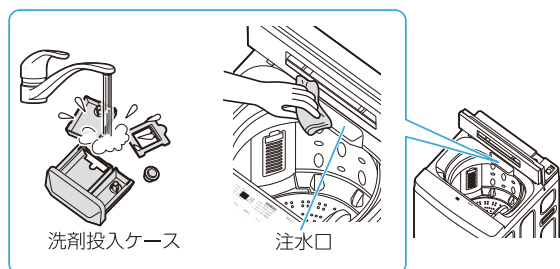


洗剤投入ケース

汚れたら、洗剤・柔軟剤が流れなくなったら

洗剤投入ケースは、外して水洗いする

- ・ 洗剤投入ケースを外したときに、注水口の汚れを拭き取ってください。



- ・ シンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性・酸性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

槽洗浄

1 か月に 1 回程度

洗濯機内部がかび臭い・汚れが目立つ・洗濯物に洗剤かすが付着するときは、槽洗浄を行ってください。

※衣類は入れないでください。

1 を押して電源を入れる

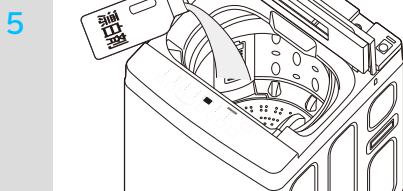
2 で槽洗浄コースを選ぶ

3 ふたを閉め、を押して給水を開始する

- ・ 水量は 55L で固定です。

4 給水終了後、を押してふたを開ける

塩素系漂白剤・槽洗浄用クリーナーを投入する



6 ふたを閉め、を押す

- ・ 槽洗浄が始まります。

7 槽洗浄が終了したら、糸くずフィルターを掃除する

- ・ 槽洗浄には市販の塩素系漂白剤・槽洗浄用クリーナーを使用してください。
- ・ 塩素系漂白剤・槽洗浄用クリーナーの分量については、塩素系漂白剤・槽洗浄用クリーナーの表示にしたがってください。
- ・ 塩素系漂白剤に表示がない場合は、約 300mL 使用してください。



注意

- 塩素系漂白剤は、酸性のものや液体と絶対に混ぜないでください。
- 塩素系漂白剤が洗濯・脱水槽に付着しないように、必ず給水しているときに使用してください。
- 塩素系漂白剤が壁や本体外側に付いたときは、速やかに拭き取り、しばらくの間、換気扇を回してください。

槽乾燥

1 週間に 1 回程度

洗濯機内部の湿気を取り、かびの発生を抑えることができます。

※衣類は入れないでください。

1 を押して電源を入れる

2 で槽乾燥コースを選ぶ

3 を押す

・ 約 30 分で終了します。

・ 黒かびや洗剤かすは槽乾燥では取り除けません。槽洗浄を行ってください。(→[槽洗浄 P51](#))

こんなときには 困ったときは

修理を依頼される前に、以下の項目を確認してください。

洗濯がスタートしない

→電源が入っていますか？

を押して電源を入れてください。

→ふたがきちんと閉まっていますか？

ふたをきちんと閉めてください。また、ふたの下に異物がはさまっていないか確認してください。

→タイマー予約の設定になっていませんか？

すぐに洗濯する場合は、一旦電源を切り、再度電源を入れて、洗濯してください。

電源が入らない

→電源プラグはコンセントに確実に差し込まれていますか？

電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。

ふたが開かない

→運転中に停電しませんでしたか？

運転中に停電したときは、を押して電源を入れてください。

→チャイルドロックを設定していませんか？

チャイルドロックを解除してください。(→[チャイルドロック P46](#))

水もれする

→給水ホースが水栓と確実に接続されていますか？

給水ホースを水栓と確実に接続してください。(→据付説明書)

→給水ホースのコネクターと水栓が合っていますか？

給水ホースのコネクターと水栓の形状が合っていないときは、ホースに付属している継手を水栓に取り付けてください。(→据付説明書)

→給水ホース付属のホース継手が確実に水栓に取り付けられていますか？

給水ホース付属のホース継手は、水栓に、すき間のないように確実に取り付け、しっかりねじを締めてください。(→据付説明書)

→排水ホースが排水口から外れていませんか？

洗濯機を取り外し、排水ホースを排水口に確実に接続してください。(→据付説明書)

→排水口がつまっていますか？

洗濯機を取り外し、排水口を掃除してから、再度洗濯機を設置してください。(→据付説明書)

—初めて使用したときに、排水ホースから水が出た

→出荷時の性能テストの水が残っています

異常ではありません。安心してご使用ください。

—排水中にゴボゴボという音がする

→排水が空気と混ざる音がします

異常ではありません。

—排水されない

→排水ホースが排水口に接続されていますか？

排水ホースを、排水口に正しく接続してください。(→据付説明書)

→排水口がつまっていませんか？

排水口を掃除してください。

→排水ホースが持ち上がっていませんか？

排水ホースが、床面から 10cm 以上持ち上がらないようにしてください。(→据付説明書)

— 給水されない

→すすぎから始まる運転を選んだときは、最初に排水・脱水します

最初に給水する必要があるときは、洗いから始めるように設定してください。(→[洗い時間を変更する P43](#))

→水栓が開いていますか？

水栓を開けてください。

→ ふたが閉まっていますか？

ふたを確実に閉めてください。

— 洗濯の途中で給水される

→洗濯中に水位が下がると、自動的に不足分を給水します

故障ではありません。

— 脱水の途中で給水される

→洗濯物の片寄りを検知すると、一時停止して、給水して片寄りを修正します

異常ではありません。給水後再び脱水になります。片寄りが修正しきれないときは、ブザーが鳴って停止します。

— すすぎ運転が設定した内容と違う

→洗濯物の片寄りを検知すると、一時停止して、「ためすすぎ」に変更されます

異常ではありません。

— ブザーが鳴って、脱水が途中で停止する

→洗濯物が片寄っていませんか？

洗濯物の片寄りを検知すると、一時停止して、給水して片寄りを修正しますが、修正しきれないときは停止します。ふたを開け、洗濯物の片寄りを手で直してください。(必ず、脱水が完全に停止してから行ってください。)

－洗濯物の量に水量が合っていない

→軽い衣類、水にぬれて重くなった衣類などを洗濯していませんか？

洗濯の水量は最初のパルセーターの回転で検知します。軽い衣類や水にぬれて重くなった衣類などを洗濯するときは、水量ボタンで水量を変更してください。(→[水量を変更する P43](#))

－洗濯物の量を検知しない

→洗濯・脱水槽に水が残ったまま運転していませんか？

洗濯物を取り出して脱水運転で排水をしてください。

－汚れが落ちにくい

→洗濯物を入れすぎていませんか？

洗濯物の量を適正に減らしてください。(→[洗濯前の準備 P20](#))

→洗剤が少ない可能性があります

洗濯用洗剤は、洗剤のパッケージの表記にしたがって、適正な量を入れてください。(→[洗剤・柔軟剤を投入する P24](#))

→洗濯物の汚れが激しい

汚れの激しい洗濯物は、こだわり機能のつけおきを使用して洗ったり、洗いボタンで洗いの時間を長くしたりして洗濯してください。(→[標準・すすぎ 1 回・つけおき・お急ぎコース P29](#))

→泥や食べこぼしなど、落ちにくい汚れは、拭き取るなどの前処理をしてください

－音が大きい、振動する

→電源コード・給水ホース・排水ホースなどが、洗濯機本体に当たっていませんか？

電源コード・給水ホース・排水ホース、本体の位置を調整して当たらないようにしてください。

→金属の小物などと一緒に洗濯していませんか？

金属の小物などは、ポケットなどから取り出して洗濯してください。

→ファスナーやボタンなどが洗濯・脱水槽の内側に当たっている可能性があります

ファスナーやボタンは閉じて洗濯してください。ファスナーやボタンなどがおもて側に出ている衣類は、裏返しにして洗濯してください。

→設置が悪く、がたついていませんか？

水平で安定した場所に据え付けし直してください。

→キャスター台の上に設置していませんか？

キャスター台はキャスターをロックしていても振動で不安定になります。キャスター台を外してください。

水平で安定した場所に据え付けし直してください。

→洗濯物が片寄っている可能性があります

洗濯物が片寄っていると、脱水時振動が大きくなります。を押して一時停止させ、ふたを開けて洗濯物の片寄りを直してください。

→洗濯機の近くของものが振動していたり、洗濯機に当たっていませんか？

—洗濯物にごみがつく

→洗濯・脱水槽が汚れていませんか？(洗剤かす・かびなど)

槽洗浄を行ってください。槽洗浄した後は、糸くずフィルターをお手入れしてください。(→[お手入れ 糸くずフィルター P48](#)、[槽洗浄 P51](#))

—洗濯物にしみがつく

→柔軟剤が部分的に付いて、しみになることがあります

柔軟剤は直接衣類にかけないで、柔軟剤投入口に入れてください。(→[洗剤・柔軟剤を投入する P24](#))

—洗濯物に糸くずが付く

→前回の洗濯物の糸くずがたまっている可能性があります

洗濯後毎回糸くずフィルターをお手入れしてください。(→[お手入れ 糸くずフィルター P48](#))

→色の濃い衣料などは糸くずが目立ちます

市販の糸くず防止用洗濯ネットを使用してください。

－洗濯物に洗剤が付く

→水温が低いと洗剤が溶けにくくなります

水温が低いときは、風呂の残り湯を使用するなどしてください。

→洗濯物が軽かったり、分厚かったりすると、水に浮いて、洗剤が残りやすくなります

軽いものや分厚いものは、下の方に沈めて洗濯してください。

→粉石けんを使用していませんか？

粉石けんは溶けにくいことがあります。別な容器に 30℃くらいのぬるま湯を用意し、溶かしてから使用してください。(→[洗剤・柔軟剤を投入する P24](#))

－洗濯物が黄ばむ

→断水などの後、鉄さびなどでにごった水を使用していませんか？

- ・断水などの後は、水がきれいになるのを待って使用してください。
- ・白い洗濯物が黄ばんでしまったときは、市販の還元型漂白剤を使用してください。(色物・柄物には使用できません。)

－洗濯物が傷む・毛羽立つ

→デリケートな洗濯物を標準コースで洗っていませんか？

- ・デリケートな洗濯物は、洗濯ネットに入れる・おしゃれ着コースで洗濯するなどしてください。
- ・毛羽立ちやすい洗濯物は裏返して洗濯するなどしてください。

—色移りする

→色落ちしやすいものを一緒に洗濯していませんか？

色落ちしやすいものは、色別にして洗濯してください。

—水量が変更できない

→変更できないコースを選んでいませんか？

—洗濯物がごわごわする

→パイル地のタオルなどは、パイルが寝て、ごわつきます

柔軟剤を使用してください。

—部屋干しモード運転をしたのに乾きが悪い

→ 部屋干しモードは、室温や湿度、衣類によって乾きに差が出ます

乾きが足りないときは、洗いとすすぎをなしにして、脱水+部屋干しモードだけの追加運転をしてください。

—洗濯物がおう

→洗濯・脱水槽が汚れていませんか？(かびなど)

槽洗浄を行ってください。(→[お手入れ 槽洗浄 P51](#))

→洗濯物を生乾きのまま放置しませんでしたか？

洗濯物は、洗濯終了後できるだけ早く取り出し、適正な方法で乾かしてください。

→においの付いた風呂の残り湯などを使用していませんか？

においのする入浴剤が入っていたり、残り湯が古くなってにおいが付いたりした場合は、使用しないでください。

— 水栓(蛇口)から笛のような音がする

→ 水圧により音がする場合があります

水栓(蛇口)を開けたり閉めたりして調整してください。

— 市販の風呂水ポンプを使用したい

→ 使用できません

— ふたロックが解除できない

→ 運転中に停電しませんでしたか？

運転中に停電したときは、を押して電源を入れてください。ふたロックが解除されます。

→ 電源を切ってから入れ直してください

→ チャイルドロックを設定していませんか？

チャイルドロックを解除してください。

— 予約運転を設定したのに運転していない

→ を押しましたか？

→ 途中で停電しませんでしたか？

→ 予約ランプは点灯していますか？

— 操作音がうるさい

→ 音は消せません

ー 洗剤、柔軟剤がケースから流れ出ない

→ ケースの中でつまっていませんか？

ケースの中を洗ってください。(→ [お手入れ 洗剤投入ケース P50](#))

ー 洗濯・脱水槽を揺らすと水の音がする

→ 振動を抑制するための「流体バランサー」の音です

流体バランサーは洗濯・脱水槽の上部に取り付けています。

異常ではありません。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、または [アイリスコール P69](#) (☎ [電話をかける](#)) へお問い合わせください。



警告

・ ご自分で分解・修理・改造はしないでください。

関連ページ

- ・ [お問い合わせ P69](#)

こんな表示が出たときは

エラーコード	状態	原因と対処
[1		排水ホースが正しく取り付けられていません 排水ホースの取り付け状態を確認してください。確認後、ふたを開閉することで運転を再開します。
		排水ホースや排水口がつまっています 排水ホースと排水口を点検して、つまっているものを取り除いてください。取り除ききれないときは、 アイリスコール P69 (☎ 電話をかける)へご相談ください。
[2- 1		ふたが閉まっていません ふたをきちんと閉めてください。ふたに異物がはさまっていたら、取り除いてください。
[2- 3		ふたロックがかかりません ふたロック部に異物がはさまっている場合は、取り除いてください。ふたがきちんと閉まってない場合は、ふたが閉まることを確認し電源を入れ直してください。
[3	洗濯が止まる	洗濯物が片寄っていて脱水ができません ふたを開け、洗濯物の片寄りを直してください。
		洗濯物の量が多いです 洗濯物の量を減らしてください。
		洗濯ネットに大量の洗濯物を詰め込んで洗濯しています 洗濯ネットに入れる洗濯物は小分けにしてください。
		大きな洗濯物を洗濯しています 大きな洗濯物は毛布コースで、記載を守って洗ってください。(→ 毛布コース P31)
		設置が悪くがたついています 水平で安定した場所に据え付けし直してください。
[5		水栓が開けられていません 水栓を開いてください。
		水道が凍結したり断水したりしています 水道が復旧するまで使用を停止してください。
		給水口にゴミがつまっています 据付専門業者または アイリスコール P69 (☎ 電話をかける)へご連絡ください。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、または[アイリスコール P69](#)( [電話をかける](#))へお問い合わせください。



警告

・ ご自分で分解・修理・改造はしないでください。

関連ページ

- ・ [お問い合わせ P69](#)

保証とアフターサービス

—保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。
保証書は別途添付しています。

—保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。
ただし、一般家庭以外での使用など、保証期間内においても無償保証の対象外になる場合があります。
詳しくは[保証規定 P66](#) を参照ください。

—一般家庭用以外の目的でご使用になる場合

理容院、美容院、病院や寮など、1日の使用時間が一般家庭と比べて長い場合は、保証期間の対象外となります。また、短時間で部品交換が必要になることがあります。
お買い上げの販売店または[アイリスコール P69](#) (☎ [電話をかける](#))にご相談のうえ、ご使用ください。

—保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または[アイリスコール P69](#) (☎ [電話をかける](#))にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

—補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、6年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

—アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店または[アイリスコール P69](#) (☎ [電話をかける](#))にお問い合わせください。

—電源コードが破損した場合

直ちに使用を中止し、[アイリスコール P69](#) (☎ [電話をかける](#))にご連絡ください。
電源コードの交換は事故等防止のため、メーカーおよび代理店、または同等の有資格者によって行わなければならないと法律により定められています。

保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
2. 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にご依頼のうえ、出張修理の際に保証書を提示してください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
3. 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
4. ご転居や贈答品などで保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、[アイリスコール P69](#) (☎ [電話をかける](#))にお問い合わせください。
5. 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外(たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 保証書の提示がない場合
 - ⑦ 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
7. 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

仕様

定格電圧	AC100V
定格周波数	50／60Hz
定格入力	410W ／ 470W
標準洗濯容量	7kg
標準脱水容量	7kg
標準使用水量	110L
標準水量	55L
保護等級	IPX4
外形寸法	幅 567mm×奥行 549mm×高さ 893mm
質量	32kg

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

長期使用製品について

経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容を、製品本体に表示しています。

【製造年】

【設計上の標準使用期間】

— 設計上の標準使用期間

JIS 基準に基づく標準的な使用条件下で使用した場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間のことです。無料修理を行う保証期間とは異なります。

標準的な使用条件(JIS 基準に基づく)

環境条件	電圧	AC100V
	周波数	50/60Hz
	温度	20℃
	湿度	65%
負荷条件	負荷	標準容量
	コース	標準コース
	給水圧	0.03~0.8MPa
	給湯・給水温度	20±15℃
想定時間	1 日の平均使用回数	1.5 回
	1 回の使用時間	標準コースの時間
	1 年間の使用日数	365 日
	1 年間の使用回数	1.5 回×365 日 = 547.5 回/年



注意

- ・製品の劣化や故障はさまざまな要因に影響されます。上記の標準的な使用期間に満たない場合でも、異常が見られたときには、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店または[アイリスコール P69](#)(☎ [電話をかける](#))にご相談ください。

※標準的な使用条件を超えて使用した場合に、標準使用期間よりも短い期間で経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

お問い合わせ

お問い合わせについてはこちら

アイリスコール：[0800-919-0770](tel:0800-919-0770)（通話料無料）

9:00～17:00（年末年始・会社都合による休日を除く）

お客様サポート：<https://www.irisohyama.co.jp/support/>

製品の最新情報はこちら

<https://www.irisohyama.co.jp/>

全自動電気洗濯機

型番 ITW-60A01

ITW-70A01

据 付 説 明 書



据え付けされる方へ

- 据え付け前に、「安全上の注意」をよくお読みになり、正しく据え付けてください。
- 製品の機能が十分発揮されるように、この据付説明書にしたがって正しく取り付けてください。
- 据え付け終了後、必ず「チェックシート」にしたがって確認をしてください。
- 据え付け終了後、必ず試運転を行ってください。
- 異常のないことを確認した後、この据付説明書はお客様にお渡しください。

お客様へ

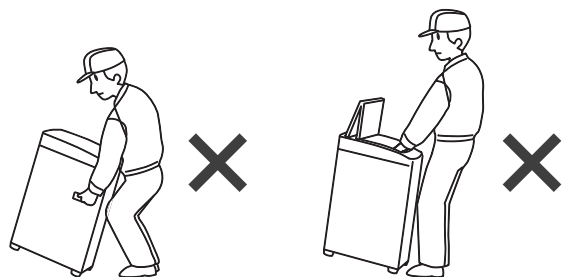
- この据付説明書は、取扱説明書とともに大切に保管してください。

もくじ

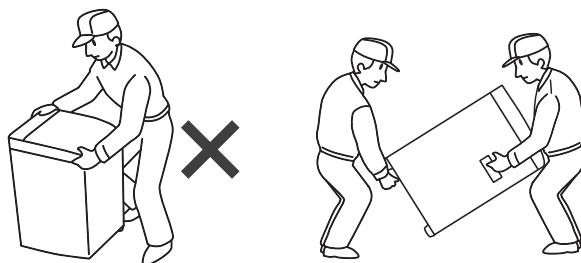
本体運搬時の注意.....	2
安全上の注意	3
付属品の確認	5
据え付け関連部品.....	5
据え付け前の確認.....	6
据え付け.....	8
①保護カバーを取り付ける.....	8
②排水口へ接続する	9
③給水栓へ接続する	10
④水平・がたつきの確認	12
⑤アース・電源コードを接続する	13
試運転	14
チェックシート.....	15

本体運搬時の注意

- 本体にひざを当てて運ばないでください。
- 衣類投入口を持って運ばないでください。
破損・変形のおそれがあります。



- 本体を引きずって移動しないでください。
床を傷付けたり、脚が破損したり、振動・異音が発生したりします。
- 必ず、2人以上で作業してください。
- 必ず、左右側面の手掛け部を持ってください。



安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う
おそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り除く
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。
- 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う
火災の原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードを束ねて使用しない
過熱してやけど・火災の原因になります。
電源コードは、必ずのばして使用してください。
- 洗濯機を電源プラグに押しつけない
据え付け時は、洗濯機で電源プラグを押しつけないように注意してください。



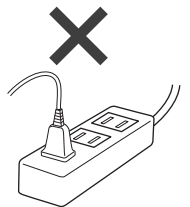
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、絶対に自分で修理せず、アイリスコールへお問い合わせください。

- 電源コードを傷付けない
- 電源コードを引っ張らない

傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- 延長コードは使用しない
過熱してやけど・火災の原因になります。



据え付けについて



水ぬれ禁止

- 水まわり、浴室など湿気のある場所には絶対に据え付けない
- ベランダ・庭など風雨にさらされる場所に据え付けない
火災・感電の原因になります。



アースを必ず接続

- アースを必ず取り付ける
故障したり漏電したりしたときに、感電のおそれがあります。
- アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない
爆発・火災の原因になります。

安全上の注意 つづき

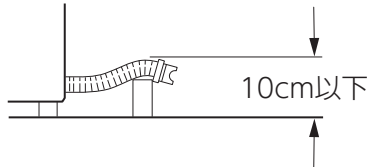


注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。



- 排水ホースは高さ10cm以内にする
- 据え付け後や移設後は、水栓を開いて、水もれがないか確認する
水もれがあるときは、もう一度各接続部を点検してください。



- 排水ホースをたるませない
- 排水ホースはねじらない
排水ができなかったり、逆流したりすることがあります。
また、本体内部で他の部品と接触すると、ホースが破れるおそれがあります。



- 給水ホースと本体の給水口は確実に接続する
- 洗濯前は、水栓を開けて給水ホースの接続を確認する
給水ナットなどがゆるんでいないか確認してください。ホースが外れると、水もれや事故の原因になります。
- 据え付けるとき・移設するときは、必ず新品の給水ホースを使用する
古くなった給水ホースは、水もれなどのおそれがあります。給水ホースについては、アイリスコールへご連絡ください。



- 洗濯機の下に手や足などを入れない
回転部などに触れるとけがの原因になります。

据え付けについて



- キャスター付きの台など不安定な場所に据え付けない
- 高いところに据え付けない
脱水時の振動で、転倒・落下・移動し、けがや周囲の家財の破損の原因になります。
- カーペットなど、底面の通気をさまたげる場所に据え付けない
火災の原因になります。

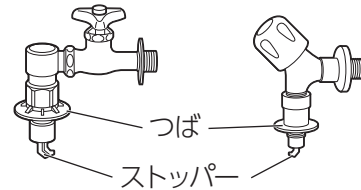


- 確実に排水できる場所に据え付ける
水もれにより、周囲の家財の汚損や、火災・感電の原因になります。

給水ホースについて



- ニップル付き給水栓に接続する場合は、付属の給水ホースから継手を外して、給水栓に接続する



- ニップル付き給水栓でない場合は、洗濯機用ニップル(市販)を取り付けるか、付属の給水ホースの継手を取り付けて接続する(取り付けかた→P10)
付属の継手は、水もれがないように、確実に取り付けてください。給水ホースとサイズなどが合わない場合は取り付けしないでください。



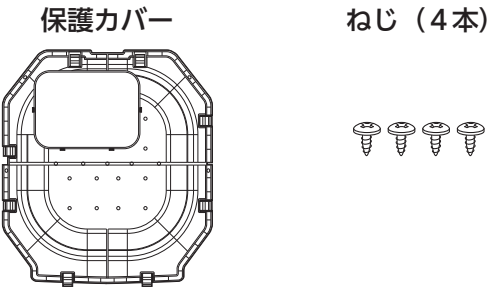
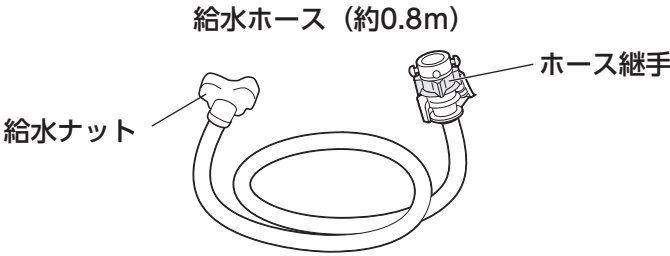
- 給湯器に接続しない
プラスチック部分が変形・破損し、感電や漏電、水もれの原因になります。



- 床近傍の水栓に接続しない
給水ホースの重みで給水ナットがゆるんで水もれの原因になります。

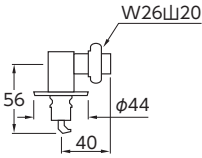
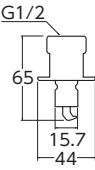
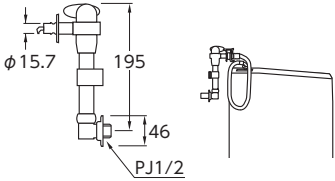
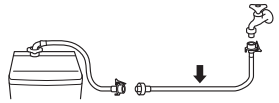
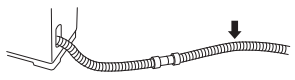
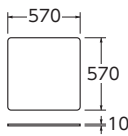
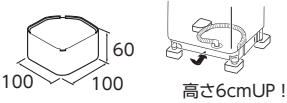
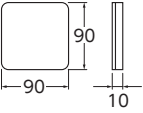
付属品の確認

最初に、付属品がそろっていることをご確認ください。
万一足りないものがある場合は、アイリスコールへご連絡ください。



据え付け関連部品

据え付けに必要な部品を用意する場合は、以下のSANEI株式会社のものを推奨します。（当社確認済み）

部品名	品番	形状	備考
洗濯機用 L型ニップル	PY124-41TVX-16		・ 万一ホースが外れた場合、瞬時に給水を自動停止 ・ 曲げ角度90° ・ 材質：青銅
洗濯機用 ニップル	PT3320		・ 万一ホースが外れた場合、瞬時に給水を自動停止 ・ カップリング水栓用 ・ 材質：黄銅
ミニセラ 洗濯機用水栓	PY1735TV-13		・ 配管が洗濯機より低い場合に使用します。 ・ オートストッパー付き
自動洗濯機 給水延長ホース	PT17-2-1		・ 全自動洗濯機用ホースの延長用 ・ 長さ：1m ・ 材質：塩化ビニル樹脂、ポリアセタール
洗濯機 排水ホース	PH64-861T-1.5		・ 洗濯機排水ホースの延長用 ・ 長さ：1.5m ・ ホース内径：30mm
洗濯機用 トレー（全自動用）	PH545-570		・ 材質：ポリスチレン
洗濯機 防振かさ上げ台	PH54130S		・ 洗濯機の下に敷くことで、洗濯機の位置が6cmアップします。 ・ 洗濯機の振動を抑えます。 ・ 耐荷重：150kg（4個使用時） ・ 材質：ポリプロピレン
防振パッド	PW75		・ 洗濯機の下に敷いて振動を抑え、ずれを防ぎます。 ・ 材質：ウレタンフォーム、EVA樹脂

※ 仕様は予告なく変更する場合があります。

据え付け前の確認

据え付け場所



- 水回り、浴室など湿気のある場所には絶対に据え付けしないでください。
- ベランダ・庭など風雨にさらされる場所には絶対に据え付けしないでください。



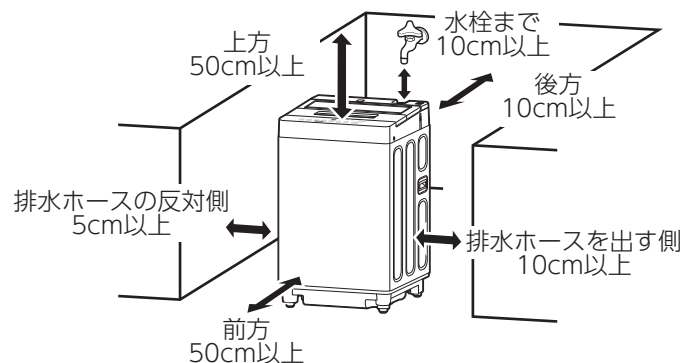
- キャスター付きの台など、不安定な場所には据え付けしないでください。
- 高いところに据え付けしないでください。
- 確実に排水できる場所に据え付けてください。

- 安定した水平な床に据え付けてください。
- 次のような場所には据え付けしないでください。
 - ・ 冬季に凍結するおそれのある場所
 - ・ 強度のない床
 - ・ 直射日光の当たる場所
 - ・ タイルなど滑りやすい床
 - ・ 暖房など発熱器具の近く
 - ・ ブロック・角材・れんがの上など、不安定な場所
 - ・ 有機溶剤を扱う場所

■ 据え付けに必要な寸法を確認

図のように壁から距離を空ける

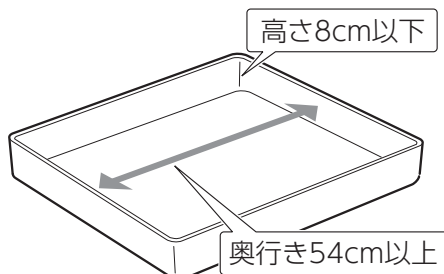
※ せまい場所に設置すると、接触による騒音・振動・故障・破損の原因になります。



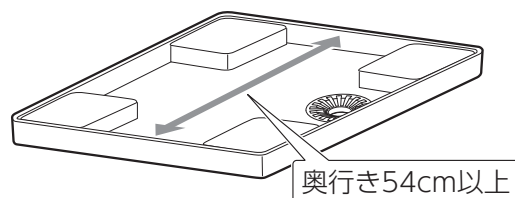
■ 防水パンの寸法を確認（防水パンに据え付ける場合）

防水パンの内寸は図に示す寸法が必要

・ 台なし防水パン



・ 台付き防水パン



※ 防水パンが設置されておらず、床が防水でないときは、洗濯機用トレーを設置してください。
室温が低いときや湿度が高いとき、冷水を使用して洗濯するときなど、洗濯機の内側が結露して、床がぬれることがあります。

排水口

■エルボ・ホースクリップの有無を確認



※エルボ・ホースクリップがない場合

➡市販品を使用する。

給水栓

■給水ホースの接続を確認

接続できる水栓



付属の継手は使用せず、
継手を外して、付属の給
水ホースを直接接続する。
(→P11)

付属の継手を使用して接続できる水栓



給水ホースから継手を取り外
し、水栓に継手を取り付けて
から給水ホースを接続する
(→P10)

接続できない水栓

・市販の給水栓ジョイント（オートストッパー付）を使用してください。

万能ホーム水栓



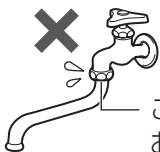
先端が細いため、給水継手が
外れるおそれがあります。

つばなしワンタッチ水栓



つばがないため、給水ホースが
外れるおそれがあります。

自在水栓

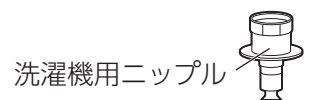
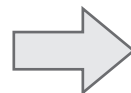
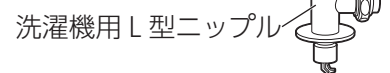
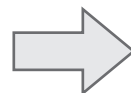


ここから水もれする
おそれがあります。

カップリング 横水栓



給水継手がうまく取り付けられない
おそれがあります。



電源・アース

■コンセントにアース端子がない場合

・電気店にアースの設置工事を依頼する。

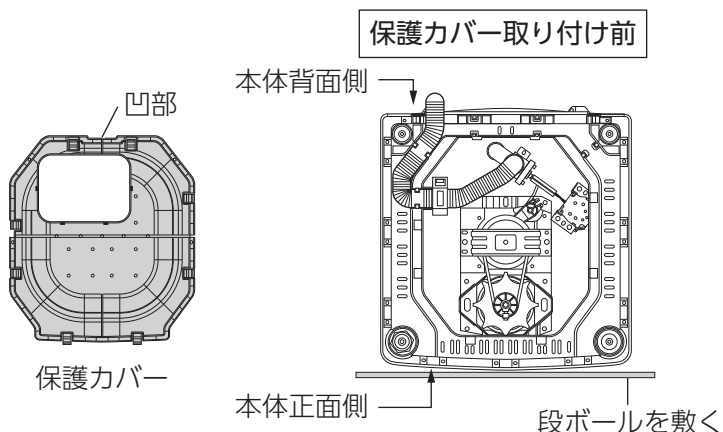
据え付け

①保護カバーを取り付ける



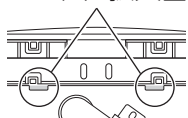
- 保護カバーを必ず取り付けてください。
本体と床面の間のすき間に手や足が入りけがの原因になります。

1. 保護カバーの凹部が本体背面側になるようにする。

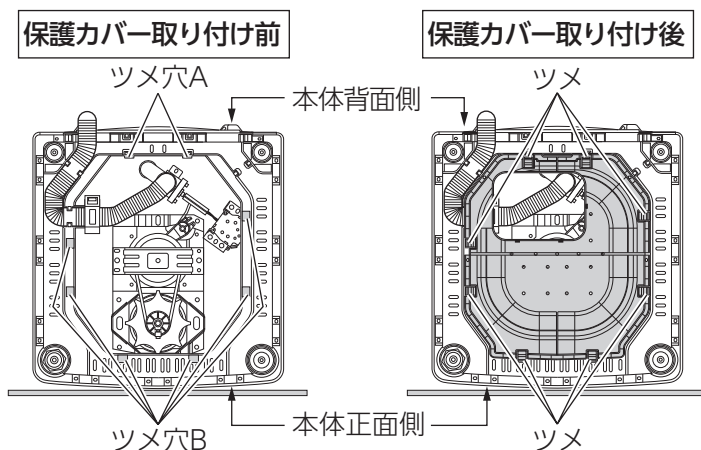
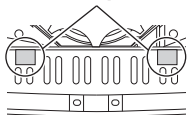


2. 本体のツメ穴に保護カバーのツメを差し込む
(8か所)

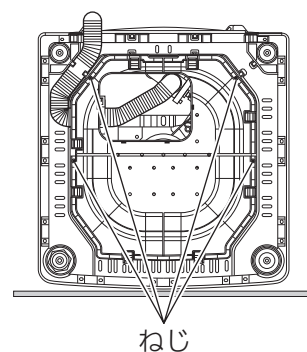
ツメ穴A拡大図



ツメ穴B拡大図



3. 付属のねじを取り付ける (4か所)



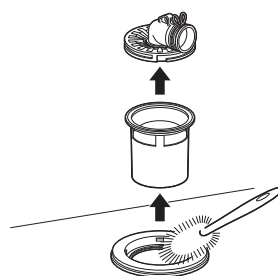
4. 保護カバーががたついていないか確認する。

②排水口へ接続する

排水口を掃除する

❶ お願い

- 排水ホースを取り付ける前に、排水口を取り外して掃除してください。
排水口にごみがたまっていると、水もれや排水不調、においの原因になります。



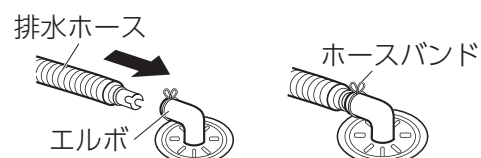
注意

- 排水ホースをたるませたり、ねじったりしないでください。
- 排水ホースは、本体底面とこすれないようにしてください。
- 排水ホースは、高さ10cm以内にしてください。

排水口にエルボがある場合

エルボに排水ホースを差し込み、排水ホースをエルボのホースバンドでしっかり固定してください。

- ホースが本体底面などとこすれないように注意してください。ホースに穴が開くと、水もれの原因になります。
- 排水ホースとエルボの差し込みがゆるい場合は、エルボを交換してください。



❷ 注意

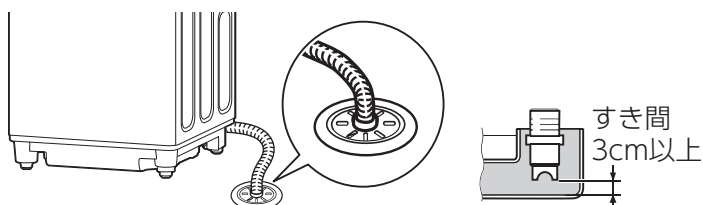
排水ホースの先端をつぶさないでください。水もれの原因になります。



排水口にエルボがない場合

排水ホースの先端を排水口に差し込みます。

- ホースの先と排水口の底の間に3cm以上のすき間を設けてください。

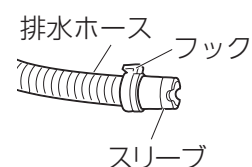


❸ 注意

排水ホース先端のスリーブは、ホースの先端にすき間を設けるためのものです。
外さないでください。
この場合、フックは外してください。

フックの外しかた

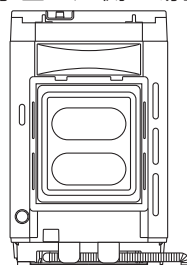
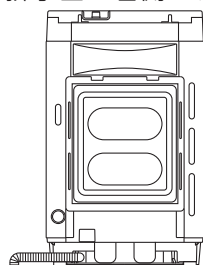
- ①スリーブを外す。
- ②ホースの先端をつぶしてフックを抜く。
- ③スリーブを元通り取り付け。



後ろから見た図

排水口が右側の場合

排水口が左側の場合



③給水栓へ接続する

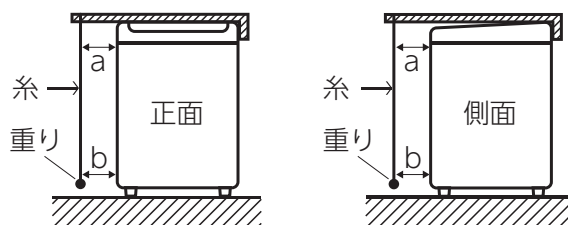
■付属の継手の取り付けかた（横水栓などを使用する場合）

給水ホースから継手を取り外して、給水栓に取り付けてください。

1. 給水ホースから継手を取り外す

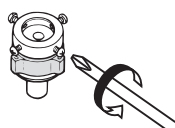
給水ホースのロックレバーを押してロックを外しながら、スライダーを押し下げ、継手を引っ張って外してください。

- 正面と側面で、重りを付けた糸を下げ、上側と下側ですき間に1cm以上の差がないようにしてください。

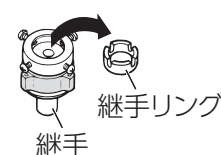
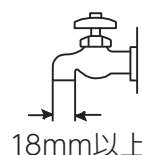


aとbの差=1cm以内

2. 継手のねじ（4本）をゆるめる

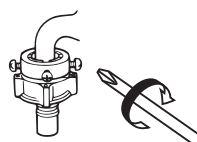


給水栓の口の直径が18mm以上のときは、継手リングを外す。

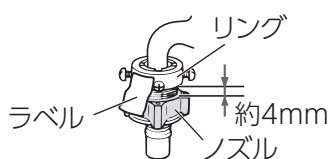


3. 給水栓に継手を差し込み、ねじで取り付ける

給水栓の口の中心と継手のパッキンの中心が合うように、ねじを均等にしっかり締めてください。



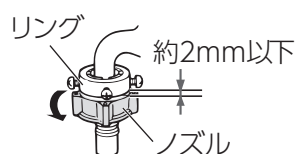
4. 継手リングとノズルの間が約4mmであることを確認して、ラベルをはがす



※ ノズルの回転防止のためラベルが貼り付けてあります。
ラベルをはがしてしまった場合は、ノズルを回転させてリングとノズルの間を調節してください。

5. ノズルを右に回して締める

ノズルとリングの間が約2mm以下になるように締めてください。



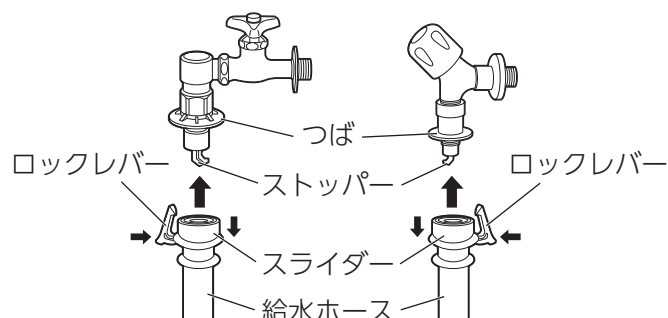
① お願い

- 使用中に水もれするときは、ノズルをさらに締めてください。
- 付属の継手は、時間が経つとゆるんでくることがあります。水もれがないか、定期的に点検して、増し締めなどを行ってください。
- 頻繁に水もれしたり、水もれの可能性があるときは、ニップル付き給水栓の使用をおすすめします。

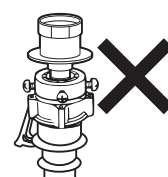
■ 接続のしかた

ニップル付き給水栓に接続する場合

付属の継手を取り外し、スライダを押し下げて、パチンと音がするまで給水ホースを押し込み、ロックレバーをつばにかけてください。

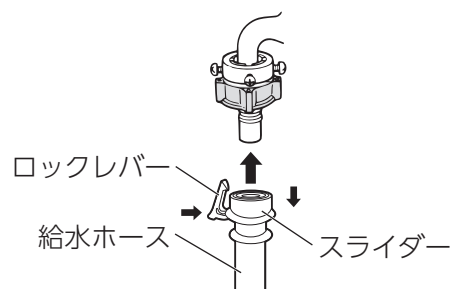


※ ニップル付き給水栓に接続する場合は、必ず付属のホース継手を取り外してください。水もれの原因になります。



付属の継手を使用する場合

スライダを押し下げて、パチンと音がするまで給水ホースを押し込み、ロックレバーをつばにかけてください。

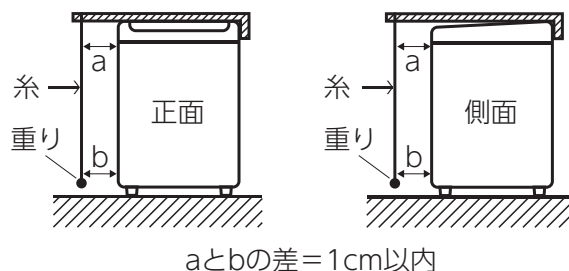


- 入らない場合は、スライダを下げきっていないことがあります。
- 給水ホースを引っ張り、抜けないことを確認してください。
- 本体の電源は入れないで、給水栓を開け、水もれがないことを確認してください。

④ 水平・がたつきの確認

1. 本体が水平になっているか確認する

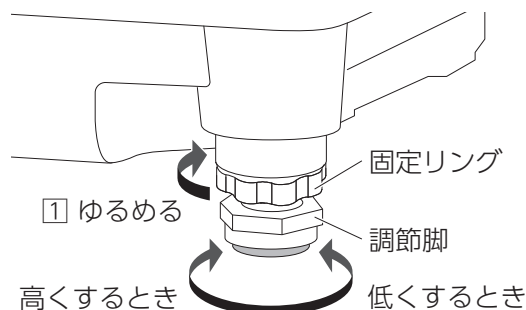
正面と側面で、重りを付けた糸を下げ、上側と下側ですき間に1cm以上の差がないようにしてください。



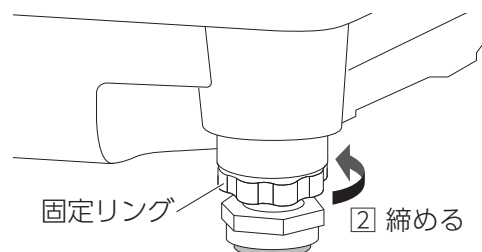
2. 調節脚を回して、がたつきがないように調整する

①固定リングを矢印方向①に回してゆるめ、調節脚を回してがたつきを調整する。

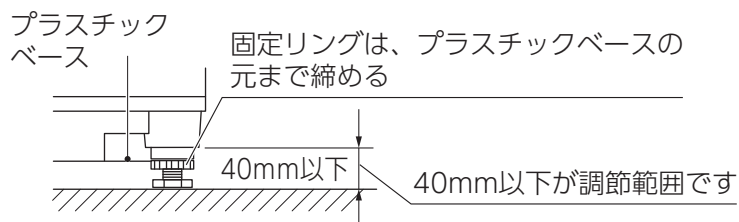
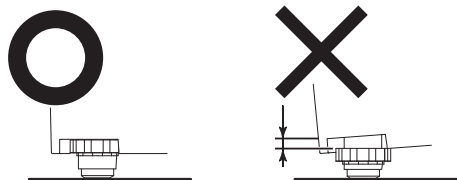
- 10mmまで高さ調節ができます。
- 調整脚は右前にあります。



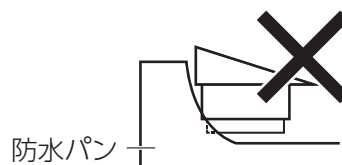
②調節が終わったら、固定リングを矢印方向②に回して固定する。



調整脚は垂直にねじこんでください。
調整脚を斜めにねじこむと、製品が傾くので、故障の原因となります。



③本体底部が、防水パンのふちやコーナー部などに乗り上げたりしていないことを確認してください。



3. 本体の対角線上の角を押して、がたつきがないことを確認する

がたつきのあるときは、再度調整してください。

⑤アース・電源コードを接続する

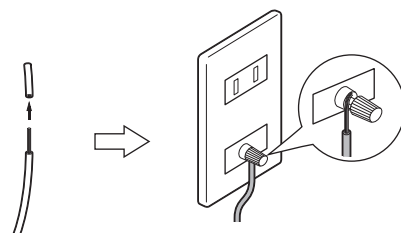
■アースを接続する



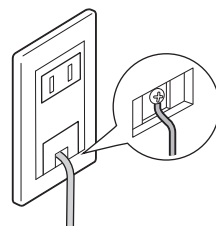
- アースは必ず接続してください。
- ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。

アース端子付きコンセントがある場合

アース線先端の絶縁被覆を抜き取り、芯線部分をアース端子に差し込んで固定します。

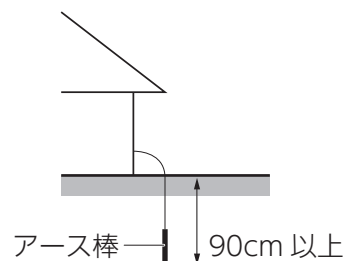


- ・ふた付きの場合はふたを開けてつないでください。



アース端子付きコンセントがない場合

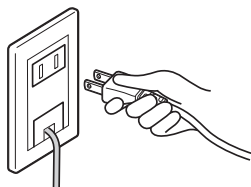
アース棒の設置が必要です。販売店または電気工事店に相談してください。



■電源プラグをコンセントに差し込む



- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。
- 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源コードは束ねないで、必ずのばして使用してください。
- 洗濯機を電源プラグに押し付けないようにしてください。
- 電源コードや電源プラグが、傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
- 電源コードを、引っ張ったりして傷つけないでください。
- 延長コードは使用しないでください。



試運転

■試運転する

次の手順で試運転してください。

- 1 電源プラグを差し込み、水栓を開く**
 - ・給水ホースや接続部から水もれがないことを確認してください。
- 2 ふたを閉め、電源 切／入ボタンを押して電源を入れ、最大水量を設定して、スタート／一時停止ボタンを押してスタートする**
 - ・給水が始まります。ふたロックランプが点灯して、ふたがロックされることを確認してください。
 - ・約5分間運転し、異常音・水もれがないこと、パルセーターが回転することを確認してください。
- 3 スタート／一時停止ボタンを押して、一時停止する**
 - ・ふたを開けて、ふたロックが解除していることを確認してください。
- 4 電源 切／入ボタンを押して電源を切り、再度押して電源を入れ直す**
- 5 ふたを閉めて脱水ボタンを押し、スタート／一時停止ボタンを押してスタートする**
 - ・ふたがロックされます。
 - ・排水が始まります。排水口・排水ホースから水もれがないこと、にごった水が出ないことを確認してください。
 - ・脱水が始まったら、異常音・異常振動がないことを確認してください。
 - ・モーターは通電による制御をするため、モーター音は一定ではありませんが、異常ではありません。
- 6 スタート／一時停止ボタンを押して一時停止する**
 - ・停止したら、ふたロックが解除されることを確認してください。
- 7 電源 切／入ボタンを押して、電源を切る**

チェックシート

・据え付け完了後、各項目を確認して、□の中に✓印を入れ、この据付説明書をお客様に渡してください。

- ☐ AC100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使用しています。
- ☐ コンセントのゆるみや、電源コード・電源プラグの傷みはないことを確認しました。
- ☐ アース線の接続は確実に行いました。（感電防止のため、アースは必ず接続してください。）
- ☐ 洗濯機の底部に保護カバーを取り付け、手や足が入るすき間がないことを確認しました。
- ☐ 給水ホースの、水栓・本体との接続部に水もれがないことを確認しました。
- ☐ 試運転して、にごった水が出ないことを確認しました。
- ☐ 排水口に糸くずなどのごみがたまっていないことを確認しました。
- ☐ 排水ホースが、本体の下にはさまったり、よじれたり、つぶれたりしていないことを確認しました。
- ☐ 排水ホースの高さが10cm以内であることを確認しました。
- ☐ 本体が水平になっていることを確認しました。
- ☐ 本体の対角線上の角を押したときに、がたつきがないことを確認しました。
- ☐ 調整脚の固定リングをしっかり締めたことを確認しました。（本体底面と固定リングの間にすき間がないこと）
- ☐ 試運転して、異常音、水もれ、電源コード・排水ホース・給水ホースの本体への接触はなく、正常に動作することを確認しました。

確認日： 年 月 日

確認者：

工事（施工）会社名：

問い合わせ先 電話番号：

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせ（通話料無料）

アイリスコール 0800-919-0770

9:00～17:00（年末年始・会社都合による休日を除く）

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・
ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。

お客様サポート
24時間365日
Web即時回答サービス

